土木関係積算標準・積算要領

６ － ４
（軌 道 編）

新　旧　対　照　表

令和８年版
（令和8年10月）

<table>
<tr><th>ページ</th><th>改　正</th><th>現　行</th></tr>
<tr><td>P.5</td><td>

（略）

VI　そ　の　他

1　保安経費等

保安要員等は別途計上出来る。

2　骨材試験費

骨材（砂、粗骨材）の改良化学法及びX線解析等による試験が必要な場合はその費用を下記により計上出来る。

作業種別	単　位	金　　額	記　　事
骨材試験費	工事	2,330,000	消費税抜き

［解　説］

試験は年１回を標準とする。（製作工程から回数を想定する）

（略）

</td><td>

（略）

VI　そ　の　他

1　保安経費等

保安要員等は別途計上出来る。

2　骨材試験費

骨材（砂、粗骨材）の改良化学法及びX線解析等による試験が必要な場合はその費用を下記により計上出来る。

作業種別	単　位	金　　額	記　　事
骨材試験費	工事	1,000,000	＿＿＿＿＿＿

［解　説］

試験は年１回＿＿＿とする。（製作工程から回数を想定する）

（略）

</td></tr>
</table>

改　　正

P.5

Ⅱ　工事用軌道

（略）

P.6

4　使用機械

使用目的	機械名		呼称	数量	記　事
ロングレール積込	門　形　ク　レ　ー　ン	1.5ｔ(電動ホイスト)	基	12	
	発　動　発　電　機	25KVA（明り）	台	1	賃料
		35KVA（トンネル）			
ロングレール運搬	軌道モータカー又は特種車	抑速・重連又はＩ形	両	2	15‰以上
				1	15‰未満
	鉄　製　ト　ロ	10ｔ	台	26	ブレーキ付
ロングレール取卸	レ　ー　ル　積　付　具		組	2	
	レ　ー　ル　送　込　装　置		両	1	
	レ　ー　ル　積　卸　ロ　ー　ラ	Ａ形	台	22	
		Ｂ形	〃	4	
	発　動　発　電　機	100KVA	〃	1	賃料
	高　ロ　ー　ラ	600㎜（高さ調整式）	個	4	
	低　ロ　ー　ラ	180㎜	〃	76	
ロングレール据付	レ　ー　ル　吊　上　機	1.0t	組	15	
コンクリート埋設	ハ　ン　マ　ー　ド　リ　ル	1.05kW	〃	4	
	発　動　発　電　機	2KVA	〃	2	賃料

（注）１．機械損料は、軌道工事用機械損料算定表による。
　　２．ロングレール積込用の発動発電機は、積込み箇所で選定すること。また、トンネル用は照明器具用の電源を兼ねている。

5　その他

ロングレール積込、運搬、取卸作業日数の算出は次による。

200ｍレール　８本積/回

Ｓ＝Ｌ／Ｌ1×α

上式中　Ｓ　：所要日数……（日）
　　Ｌ　：レール敷設設計延長……（m）
　　Ｌ1　：１日当り平均施工延長（400m）
　　α　：供用係数（1.6）

（略）

P.13

Ⅲ　スラブ敷設

（略）

P.15

4　使用機械

使用目的	機械名	単位	数量	記　事
門形クレーン組立､解体	ラフテレーンクレーン	台	1	吊上能力は実情による。賃料
軌道スラブ積込み	ラフテレーンクレーン 25ｔ吊（標準）			
	門形クレーン(6～10ｔ)用電動ホイスト	組	1	電動ホイスト及び発動発電機の規格は実情による。
軌道スラブ取卸	スラブ敷設車	〃	1	
	発動発電機(150KVA)	台	1	賃料
	レール山越器(1.5ｔ)2,300×800	〃	15	
	レール運搬器	〃	6	

現　　行

Ⅱ　工事用軌道

（略）

4　使用機械

使用目的	機械名		呼称	数量	記　事
ロングレール積込	門　形　ク　レ　ー　ン	1.5ｔ(電動ホイスト)	基	12	
	発　動　発　電　機	25KVA（明り）	台	1	賃料
		35KVA（トンネル）			
ロングレール運搬	軌道モータカー又は特種車	290PS 又はＩ形	両	2	15‰以上
				1	15‰未満
	鉄　製　ト　ロ	10ｔ	台	26	ブレーキ付
ロングレール取卸	レ　ー　ル　積　付　具		組	2	
	レ　ー　ル　送　込　装　置		両	1	
	レ　ー　ル　積　卸　ロ　ー　ラ	Ａ形	台	22	
		Ｂ形	〃	4	
	発　動　発　電　機	100KVA	〃	1	賃料
	高　ロ　ー　ラ	600㎜（高さ調整式）	個	4	
	低　ロ　ー　ラ	180㎜	〃	76	
ロングレール据付	レ　ー　ル　吊　上　機	1.0t	組	15	
コンクリート埋設	ハ　ン　マ　ー　ド　リ　ル	1.05kW	〃	4	
	発　動　発　電　機	2KVA	〃	2	賃料

（注）１．機械損料は、軌道工事用機械損料算定表による。
　　２．ロングレール積込用の発動発電機は、積込み箇所で選定すること。また、トンネル用は照明器具用の電源を兼ねている。

5　その他

ロングレール積込、運搬、取卸作業日数の算出は次による。

200ｍレール　８本積/回

Ｓ＝Ｌ／Ｌ1×α

上式中　Ｓ　：所要日数……（日）
　　Ｌ　：レール敷設設計延長……（m）
　　Ｌ1　：１日当り平均施工延長（400m）
　　α　：供用係数（1.6）

（略）

Ⅲ　スラブ敷設

（略）

4　使用機械

使用目的	機械名	単位	数量	記　事
門形クレーン組立､解体	ラフテレーンクレーン	台	1	吊上能力は実情による。賃料
軌道スラブ積込み	ラフテレーンクレーン 25ｔ吊（標準）			
	門形クレーン(6～10ｔ)用電動ホイスト	組	1	電動ホイスト及び発動発電機の規格は実情による。
軌道スラブ取卸	スラブ敷設車	〃	1	
	発動発電機(125KVA)	台	1	賃料
	レール山越器(1.5ｔ)2,300×800	〃	15	
	レール運搬器	〃	6	

改　　正

軌道スラブ運搬	軌道モータカー又は特種車 (抑速・重連又はⅠ形)	両	2	2編成分
	鉄製トロ(10ｔ)	台	12	連結棒(各種)含む
防護工	軌道モータカー又は特種車 (抑速・重連又はⅠ形)	両	1	
	鉄製トロ(10ｔ)	台	3	
軌道スラブ調整	門形調整器	組	1	
	デジタル式スラブ敷設ゲージ	組	1	本体・タブレットPC・RFID タグリーダ　各2台含む

（注）1. 防護工の軌道モータカー等の運転時間は、軌道延長100m当り0.7ｈ稼動とする。
2. 機器の損料は、軌道工事用機械損料算定表による。

(略)

P.17

6　**単価表**

1　スラブ敷設　1ｍ当り単価表

(略)

P.18

④機械経費　1ｍ当り単価表

歩掛コード	S360240

名称	規格	単位	数量	摘要
電動ホイスト		日	Pck	4使用機械　機械損料
移動式クレーン賃料	油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型	日	TCu	4使用機械　賃料
軌道スラブ敷設車		時間	SFh	4使用機械　機械損料 運転時間当り
内燃発電機	150KVA	日	EGu	4使用機械　賃料
燃料（軽油）	発動発電機 150KVA	L	EGn	
レール山越器		日	RYk	4使用機械　機械損料 供用日当り
レール運搬器		日	RUk	〃
軌道スラブ運搬車		時間 日	MCh1 MCk1	4使用機械　機械損料 運転時間当り及び供用日当り
燃料（軽油）	軌道スラブ運搬車	L	MCn1	
鉄製トロ10ｔ		日	TTu1	4使用機械　機械損料 運転日当り
防護工運搬車		時間 日	MCh2 MCk2	4使用機械　機械損料 運転時間当り及び供用日当り
燃料（軽油）	防護工運搬車	L	MCn2	
鉄製トロ10ｔ		日	TTu2	4使用機械　機械損料 運転日当り
門形調整器		日	YJ	4使用機械　機械損料 供用日当り
デジタル式スラブ敷設ゲージ		日	DG	4使用機械　機械損料 供用日当り
合計				
1ｍ当り		m	L	

（注）1.　UD＝　SL/40　：スラブ積卸施工日数
UH：(UD)×7.0　：スラブ敷設運転時間
KD：(UD)*(kk)　：スラブ敷設供用日数

現　　行

軌道スラブ運搬	軌道モータカー又は特種車 (290PS又はⅠ形)	両	2	2編成分
	鉄製トロ(10ｔ)	台	12	連結棒(各種)含む
防護工	軌道モータカー又は特種車 (290PS又はⅠ形)	両	1	
	鉄製トロ(10ｔ)	台	3	
軌道スラブ調整	門形調整器	組	1	
	デジタル式スラブ敷設ゲージ	組	1	本体・タブレットPC・RFID タグリーダ　各2台含む

（注）1. 防護工の軌道モータカー等の運転時間は、軌道延長100m当り0.7ｈ稼動とする。
2. 機器の損料は、軌道工事用機械損料算定表による。

(略)

6　**単価表**

1　スラブ敷設　1ｍ当り単価表

(略)

④機械経費　1ｍ当り単価表

歩掛コード	S360240

名称	規格	単位	数量	摘要
電動ホイスト		日	Pck	4使用機械　機械損料
移動式クレーン賃料	油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型	日	TCu	4使用機械　賃料
軌道スラブ敷設車		時間	SFh	4使用機械　機械損料 運転時間当り
内燃発電機	125KVA	日	EGu	4使用機械　賃料
燃料（軽油）	発動発電機 125KVA	L	EGn	
レール山越器		日	RYk	4使用機械　機械損料 供用日当り
レール運搬器		日	RUk	〃
軌道スラブ運搬車		時間 日	MCh1 MCk1	4使用機械　機械損料 運転時間当り及び供用日当り
燃料（軽油）	軌道スラブ運搬車	L	MCn1	
鉄製トロ10ｔ		日	TTu1	4使用機械　機械損料 運転日当り
防護工運搬車		時間 日	MCh2 MCk2	4使用機械　機械損料 運転時間当り及び供用日当り
燃料（軽油）	防護工運搬車	L	MCn2	
鉄製トロ10ｔ		日	TTu2	4使用機械　機械損料 運転日当り
門形調整器		日	YJ	4使用機械　機械損料 供用日当り
デジタル式スラブ敷設ゲージ		日	DG	4使用機械　機械損料 供用日当り
合計				
1ｍ当り		m	L	

（注）1.　UD＝　SL/40　：スラブ積卸施工日数
UH：(UD)×7.0　：スラブ敷設運転時間
KD：(UD)*(kk)　：スラブ敷設供用日数

改　　正

kk：供用係数

2.　PCk　＝　KD　：電動ホイスト供用日数
　　TCu　＝　UD　：移動式ｸﾚｰﾝ運転日数

3.　MCh1　＝　(UH)×2　：軌道スラブ運搬車運転時間(2 編成)
　　MCk1　＝　(KD)×2　：軌道スラブ運搬車供用日数(2 編成)
　　MCn1　＝　軌道スラブ運搬車標準燃費×(MCh1)

4.　TTu1　＝　(UD)×12　：鉄製トロ運転日数(2 編成分)

5.　SFh　＝　(UD)×7.0　：スラブ敷設車運転時間

6.　EGu　＝　KD　：発動発電機共用日数
　　EGh　＝　(UD)×7.0　：発動発電機運転時間
　　EGn　＝　発動発電機標準燃費×(EGh)

7.　RYk　＝　(KD)×15　：レール山越器供用日数
　　RUk　＝　(KD)×6　：レール運搬器供用日数

8.　MCh2　＝　0.7×L/100　：防護工運搬車運転時間(1 編成)
　　MCk2　＝　(KD)×1　：防護工運搬車供用日数(1 編成)
　　MCn2　＝　防護工運搬車標準燃費×(MCh2)

9.　TTu2　＝　(UD)×3　：鉄製トロ運転日数(1 編成)
　　YJ　＝　(KD)×1　：門形調整器(組)
　　DG　＝　(KD)×1　：デジタル式スラブ敷設ゲージ(組)

(略)

P. 23

Ⅳ　ＣＡモルタル注入

(略)

P. 25

4　使用機械

(略)

(2) モルタル注入

使用目的	機械名	単位	数量	記　　事
モルタル運搬注入	軌道モータカー又は特種車	両	1	抑速・重連又はＩ形
	モルタル注入車	式	1	
	鉄製トロ（10ｔ）	台	2	
	発動発電機（100KVA）	〃	1	賃料

(注) 機械損料は、軌道工事用機械損料算定表による。

(3) 突起部注入

使用目的	機械名	単位	数　量	記　　事
樹脂注入	軌道モータカー又は特種車	両	1	抑速・重連又はＩ形
	鉄製トロ（10ｔ）	台	2	
	自動計量混合装置	〃	1	
	空気圧縮機（吐出量 2.0m3/min）	〃	1	賃料
	発動発電機（1KVA）	〃	1	賃料
	ガソリン	L	4.6	
	軽油	L	16.8	

(注) 機械損料は、軌道工事用機械損料算定表による。

(略)

現　　行

kk：供用係数

2.　PCk　＝　KD　：電動ホイスト供用日数
　　TCu　＝　UD　：移動式ｸﾚｰﾝ運転日数

3.　MCh1　＝　(UH)×2　：軌道スラブ運搬車運転時間(2 編成)
　　MCk1　＝　(KD)×2　：軌道スラブ運搬車供用日数(2 編成)
　　MCn1　＝　軌道スラブ運搬車標準燃費×(MCh1)

4.　TTu1　＝　(UD)×12　：鉄製トロ運転日数(2 編成分)

5.　SFh　＝　(UD)×7.0　：スラブ敷設車運転時間

6.　EGu　＝　KD　：発動発電機共用日数
　　EGh　＝　(UD)×7.0　：発動発電機運転時間
　　EGn　＝　発動発電機標準燃費×(EGh)

7.　RYk　＝　(KD)×15　：レール山越器供用日数
　　RUk　＝　(KD)×6　：レール運搬器供用日数

8.　MCh2　＝　0.7×L/100　：防護工運搬車運転時間(1 編成)
　　MCk2　＝　(KD)×1　：防護工運搬車供用日数(1 編成)
　　MCn2　＝　防護工運搬車標準燃費×(MCh2)

9.　TTu2　＝　(UD)×3　：鉄製トロ運転日数(1 編成)
　　YJ　＝　(KD)×1　：門形調整器(組)
　　DG　＝　(KD)×1　：デジタル式スラブ敷設ゲージ(組)

(略)

Ⅳ　ＣＡモルタル注入

(略)

4　使用機械

(略)

(2) モルタル注入

使用目的	機械名	単位	数量	記　　事
モルタル運搬注入	軌道モータカー又は特種車	両	1	290PS 又はＩ形
	モルタル注入車	式	1	
	鉄製トロ（10ｔ）	台	2	
	発動発電機（100KVA）	〃	1	賃料

(注) 機械損料は、軌道工事用機械損料算定表による。

(3) 突起部注入

使用目的	機械名	単位	数　量	記　　事
樹脂注入	軌道モータカー又は特種車	両	1	290PS 又はＩ形
	鉄製トロ（10ｔ）	台	2	
	自動計量混合装置	〃	1	
	空気圧縮機（吐出量 2.0m3/min）	〃	1	賃料
	発動発電機（1KVA）	〃	1	賃料
	ガソリン	L	4.6	
	軽油	L	16.8	

(注) 機械損料は、軌道工事用機械損料算定表による。

(略)

改　　正

P.34

Ⅴ　レール敷設

（略）

P.37

4　使用機械

使用目的	機械名		称呼	数量	記　　事
ロングレール据付 伸縮継目敷設 ＩＪ挿入	レール山越器	1.5ｔ	組	15	
	軌道モータカー 又は特種車	抑速・重連 又はＩ形	両	1	
	鉄製トロ	10ｔ	台	3	
	レール山越器	1.5ｔ	組	2	
材料運搬等	軌道モータカー 又は特種車	抑速・重連 又はＩ形	両	1	
	鉄製トロ	10ｔ	台	3	
樹脂注入	樹脂注入機	200W	組	2	
	発動発電機	1KVA	台	2	賃料
レール締結	ボルト緊解機	電動式	〃	2	
	発動発電機	2KVA	〃	2	
レール面整正	トラックマスター		〃	1	

（注）1．材料運搬等の軌道モータカー又は特種車（Ｉ形）の運転時間は、軌道延長 100m当り 0.7ｈ稼動とする。
2．機械損料は、軌道工事用機械損料算定表による。

（略）

P.38

6　単価表

（略）

p.44

9　ＩＪ挿入機械経費　1箇所当り単価表

歩掛コード	S360497

名　　称	規格	単位	数量	摘要
レール山越器		日		4使用機械　供用日当り
ＩＪレール運搬車	抑速・重連又はＩ形	時間 日		4使用機械 運転時間当り及び供用日当り
燃料（軽油）		L		〃
鉄製トロ	10ｔ×3台	日		4使用機械　運転日当り
合　　計				
1箇所当り		箇所	1	

（略）

P.50

Ⅶ　そ　の　他

（略）

P.51

5　基地仮設･撤去

（略）

(2) 素材レール貯積台仮設･撤去

（略）

現　　行

Ⅴ　レール敷設

（略）

4　使用機械

使用目的	機械名		称呼	数量	記　　事
ロングレール据付 伸縮継目敷設 ＩＪ挿入	レール山越器	1.5ｔ	組	15	
	軌道モータカー 又は特種車	290PS 又は Ｉ形	両	1	
	鉄製トロ	10ｔ	台	3	
	レール山越器	1.5ｔ	組	2	
材料運搬等	軌道モータカー 又は特種車	290PS 又は Ｉ形	両	1	
	鉄製トロ	10ｔ	台	3	
樹脂注入	樹脂注入機	200W	組	2	
	発動発電機	1KVA	台	2	賃料
レール締結	ボルト緊解機	電動式	〃	2	
	発動発電機	2KVA	〃	2	
レール面整正	トラックマスター		〃	1	

（注）1．材料運搬等の軌道モータカー又は特種車（Ｉ形）の運転時間は、軌道延長 100m当り 0.7ｈ稼動とする。
2．機械損料は、軌道工事用機械損料算定表による。

（略）

6　単価表

（略）

9　ＩＪ挿入機械経費　1箇所当り単価表

歩掛コード	S360497

名　　称	規格	単位	数量	摘要
レール山越器		日		4使用機械　供用日当り
ＩＪレール運搬車	U-1400	時間 日		4使用機械 運転時間当り及び供用日当り
燃料（軽油）		L		〃
鉄製トロ	10ｔ×3台	日		4使用機械　運転日当り
合　　計				
1箇所当り		箇所	1	

（略）

Ⅶ　そ　の　他

（略）

5　基地仮設･撤去

（略）

(2) 素材レール貯積台仮設･撤去

（略）

改　　正

② 材料費　　（1 箇所当り）

品　名	品質形状	単位	数量		損率(%)	記　事
			明かり	トンネル		
古並まくらぎ	2,100×200×140	本	19.3	35.8	100	
H　形　鋼	H150×150×7	t	－	0.96	30	
パッキン材	松２等	m^3	0.131	0.34	70	
カスガイ	φ9×180	本	176	264	30	
その他	上記金額の	%	3	3		

（注）1. 貯積台は、25mレール用、明かり区間用は、幅 2.1m、受台間隔 2.5m、トンネル区間は、幅 4.2m、受台間隔 2.5mとした場合である。
2. 素材レールの段積みするレール間に使用するパッキン材は、実情により別途計上する。
3. 上記の数量に対して、損率を考慮した数量を計上する。
4. 現地の状況に合わない場合は、実情により別途査定する。

（略）

P. 56

7　**単価表**

（略）

3　機械保守　1式当り単価表

歩掛コード	S360655

名　称	規格	単位	数量	摘要
軌道モータカー	抑速・重連	日		供用日当り損料
特殊車(軌陸装置付)	Ⅰ形･抑速	〃		〃
合　計				
1　式　当　り		式	1	

P. 57

4　人車運転　1日当り単価表

歩掛コード	S360660

名　称	規格	単位	数量	摘要
モータカー運転手		人		3　人車運転
軌　道　工		〃		〃
特殊車(軌陸装置付)	Ⅰ形抑速･逸走防止付	時間 日		〃　運転時間当り及び供用日当り損料
燃料（軽油）		L		
鉄製トロ	10ｔ	日		3　人車運転　運転日当り損料
合　計				
1　日　当　り		日	1	

（略）

現　　行

② 材料費　　（1 箇所当り）

品　名	品質形状	単位	数量		損率(%)	記　事
			明かり	トンネル		
古並まくらぎ	2,100×200×140	本	19.3	35.8	100	
H　形　鋼	H150×150×7	t	－	0.96	30	
パッキン材	松２等	m^3	0.131	0.34	70	
カスガイ	φ9×180	本	176	264	30	
その他	上記金額の	%	3	3		

（注）1. 貯積台は、25mレール用、明かり区間用は、幅 2.1m、受台間隔 2.5m、トンネル区間は、幅 4.2m、受台間隔 2.5mとした場合である。
2. 上記の数量に対して、損率を考慮した数量を計上する。
3. 現地の状況に合わない場合は、実情により別途査定する。

（略）

7　**単価表**

（略）

3　機械保守　1式当り単価表

歩掛コード	S360655

名　称	規格	単位	数量	摘要
軌道モータカー	WD-H28B 290PS	日		供用日当り損料
特殊車(軌陸装置付)	Ⅰ形･抑速(155PS)	〃		〃
合　計				
1　式　当　り		式	1	

4　人車運転　1日当り単価表

歩掛コード	S360660

名　称	規格	単位	数量	摘要
モータカー運転手		人		3　人車運転
軌　道　工		〃		〃
特殊車(軌陸装置付)	Ⅰ形抑速･逸走防止付(155PS)	時間 日		〃　運転時間当り及び供用日当り損料
燃料（軽油）		L		
鉄製トロ	10ｔ	日		3　人車運転　運転日当り損料
合　計				
1　日　当　り		日	1	

（略）

改　　正

P.8

（略）

Ⅱ　軌道材料搬入

（略）

3　軌道材料運搬

（略）

(2) 使用機械

使用目的	機械名	単位	数量	記　　事
軌道材料運搬	軌道モータカー又は特種車	両	1	抑速・重連又はⅠ形
	鉄製トロ（10ｔ）	台	5	

（注）1. 機械損料は、軌道工事用機械損料算定表による。
2. 運転時間は別表-1による。

（略）

P.10　4　締着ボルト設置

（略）

P.11　(3) 標準締着ボルト設置数（参考）

種類	番数	ｸﾛｯｼﾝｸﾞ	締着ボルト数（本）	PA板（枚）	まくらぎ（本数当り）	備考
片開き分岐器	12#	可動	217	4	98	
		固定	218	2	98	
	16#	可動	277	4	125	
		固定	279	2	125	
	18#	可動	311	4	140	
		固定	307	2	139	
渡り線	12#	可動	401	12	185	線間 4.3m
	18#	可動	571	12	263	線間 4.3m
			601	12	261	線間 4.6m
		固定	575	4	273	線間 4.3m
			604	4	274	線間 4.6m
シーサスクロッシング	16＃	可動	788	16	394	線間 4.6m
		固定	780	8	390	線間 4.6m
伸縮継目	—	—	54	—	27	
簡易伸縮継目	—	—	28	—	14	
一般軌道区間	—	—	200	—	100	L=2,400mm

（注）1. 分岐器については、1組当りの数量である。

現　　行

（略）

Ⅱ　軌道材料搬入

（略）

3　軌道材料運搬

（略）

(2) 使用機械

使用目的	機械名	単位	数量	記　　事
軌道材料運搬	軌道モータカー又は特種車	両	1	290PS 又はⅠ形
	鉄製トロ（10ｔ）	台	5	

（注）1. 機械損料は、軌道工事用機械損料算定表による。
2. 運転時間は別表-1による。

（略）

4　締着ボルト設置

（略）

(3) 標準締着ボルト設置数（参考）

種類	番数	ｸﾛｯｼﾝｸﾞ	締着ボルト数（本）	PA板（枚）		備考
片開き分岐器	12#	可動	217	4		
		固定	218	2		
	16#	可動	277	4		
		固定	279	2		
	18#	可動	311	4		
		固定	307	2		
渡り線	12#	可動	401	12		線間 4.3m
	18#	可動	571	12		線間 4.3m
			601	12		線間 4.6m
		固定	575	4		線間 4.3m
			604	4		線間 4.6m
シーサスクロッシング	16＃	可動	788	16		線間 4.6m
		固定	780	8		線間 4.6m
伸縮継目	—	—	54	—		まくらぎ 27 本分
簡易伸縮継目	—	—	28	—		まくらぎ 14 本分
一般軌道区間	—	—	200	—		L=2,400mm まくらぎ100本当り

（注）1. 分岐器については、1組当りの数量である。

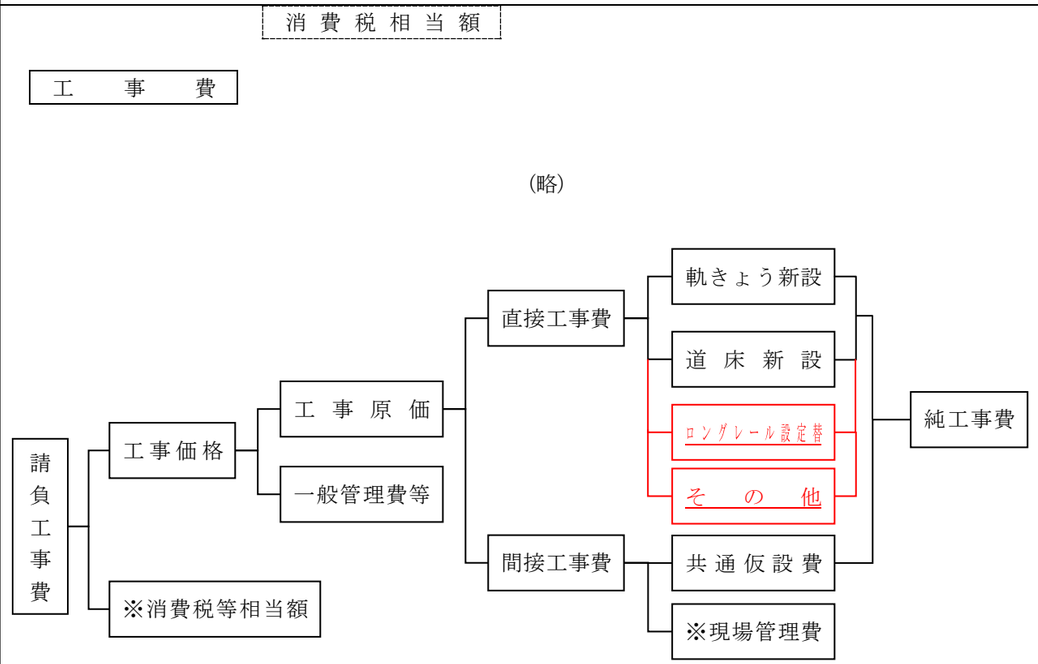
ページ	改　　正	現　　行
	2. PA 板は新幹線直結分岐器の床敷板の上に支圧板を設置する箇所に配置する。 3. PA 板の形状は、120 ㎜×120 ㎜　厚さ 12 ㎜を標準とする。 （略）	2. PA 板は新幹線直結分岐器の床敷板の上に支圧板を設置する箇所に配置する。 3. PA 板の形状は、120 ㎜×120 ㎜　厚さ 12 ㎜を標準とする。 （略）

ページ	改　正	現　行
P.1	Ⅰ　総　　則 **1　適用範囲** この要領は、まくらぎ直結軌道＿＿＿＿を敷設する工事の積算に適用する。 〔解　説〕 この要領における施工の内容及び順序等は、表－2 を標準としているが、これにより難い場合は別途積算する。 **2　工事工種体系の構成** 工事工種体系の構成は、表－1 による。 **3　標準歩掛の基準** (1) 標準労働時間は、拘束時間９時間、実働時間８時間、実作業時間７時間とする。 (2) 作業環境は、昼間、普通の天候、環境状態及び工期におけるものとする。 (3) 線路状態は、直線及び曲線の弾性まくらぎ直結軌道区間とする。 (4) 作業は、列車等の運転に関係ない場合のものとする。 (5) 施工方法、諸規定、諸標準等により、従来一般に行われている作業方法による。 (6) 供用係数は 1.6 を標準とする。 **4　標準歩掛の補正及び修正** 標準歩掛の補正は、「土木関係予定価格積算標準」(以下「積算標準」という) 及び「土木関係積算標準・積算要領 6-4（軌道編）の 6-4-1　新設線軌道工事」による。	Ⅰ　総　　則 **1　適用範囲** この要領は、まくらぎ直結軌道(狭軌線) を敷設する工事の積算に適用する。 〔解　説〕 この要領における施工の内容及び順序等は、表－2 を標準としているが、これにより難い場合は別途積算する。 **2　工事工種体系の構成** 工事工種体系の構成は、表－1 による。 **3　標準歩掛の基準** (1) 標準労働時間は、拘束時間９時間、実働時間８時間、実作業時間７時間とする。 (2) 作業環境は、昼間、普通の天候、環境状態及び工期におけるものとする。 (3) 線路状態は、直線及び曲線の弾性まくらぎ直結軌道区間とする。 (4) 作業は、列車等の運転に関係ない場合のものとする。 (5) 施工方法、諸規定、諸標準等により、従来一般に行われている作業方法による。 (6) 「土木関係積算標準・積算要領　6-4（軌道編）平成１７年版」等を適用しているので、改定時には訂正して使用するものとする。 **4　標準歩掛の補正及び修正** 標準歩掛の補正は、「土木関係予定価格積算標準」＿＿＿＿及び「土木関係積算標準・積算要領 6-4（軌道編）の 6-4-1　新設線軌道工事」による。
P.2	(略) 表－1　工事工種体系の構成 工事区分：軌道工事／直接工事費／共通仮設費／純工事費／工事原価／工事価格 工種：まくらぎ直結軌道／共通仮設費(積上げ)／共通仮設費(率計上)／現場管理費／一般管理費等 種別：軌きょう新設／道床新設／ロングレール設定替／I J 挿入／消音バラスト散布／脱線防止ガード敷設 細別：「工事工種体系の構成表」による	(略) 表－1　工事工種体系の構成 工事区分：軌道工事／直接工事費／共通仮設費／純工事費／工事原価／工事価格 工種：まくらぎ直結軌道／共通仮設費(積上げ)／共通仮設費(率計上)／現場管理費／一般管理費等 種別：軌きょう新設／道床新設／＿＿＿＿／＿＿＿＿／＿＿＿＿／＿＿＿＿ 細別：「工事工種体系の構成表」による

ページ	改　正	現　行

改正

P.3



(略)

P.4

表－2　標準施工方法の作業手順

(略)

1. コンクリート打設長＝100m／1回当り
2. 仮設材の考え方

(片側 400m施工)

作　業	名　称・規　格		セット数 一般区間	セット数 単線トンネル	パーティ数	準備数
軌きょう整正	レールサポータ	H－150×150×7×10	3	2	χ	χセット
	パイプサポート	小型　1,200×2,100	3	2	χ	χセット
	軌きょう仮受装置	軌条支承装置	3	2	χ	χセット

パーティ数　：全体工程表より
セット数　　：100m当り

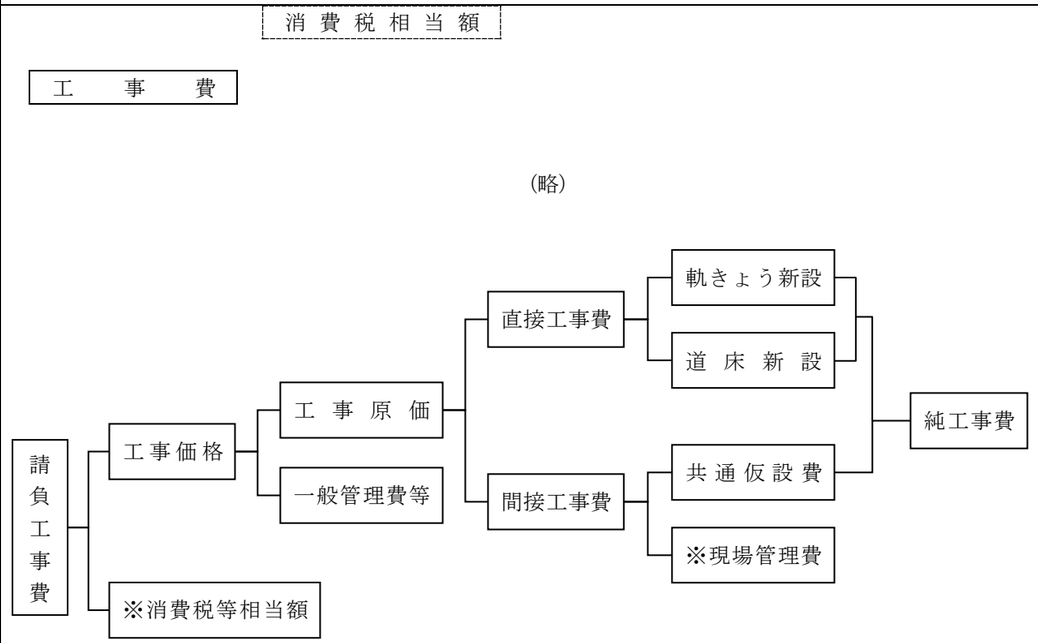
(略)

P.5

Ⅱ　軌きょう新設

1　一般事項
(1) この歩掛は現地工法による軌きょう新設に適用する。
(2) この歩掛で記載する 25m 当りのまくらぎ本数には、継目まくらぎを含める。
(3) 締結装置が線ばねの場合は、レール敷設歩掛を 0.85 倍する。

現行



(略)

表－2　標準施工方法の作業手順

(略)

1. コンクリート打設長＝100m／1回当り
2. 仮設材の考え方

(片側 400m施工)

作　業	名　称・規　格		セット数 一般区間	セット数 ――	パーティ数	準備数
軌きょう整正	レールサポータ	H－150×150×7×10	3	――	χ	χセット
	パイプサポート	小型　1,200×2,100	3	――	χ	χセット
	軌きょう仮受装置	軌条支承装置	3	――	χ	χセット

パーティ数　：全体工程表より
セット数　　：100m当り

(略)

Ⅱ　軌きょう新設

（新規）

ページ	改　正	現　行
P.6	(4) レール、軌道材料等（まくらぎ、締結装置、サポート等）の材料運搬は、施工基面内に集積されていることを前提とする。施工基面内に搬入が必要な場合は別途積算すること。 2　道床幅墨出し（サポート位置出し前作業） (1) 標準歩掛 （軌道延長 100m当り） 職　種 ／ 単位 ／ 歩　掛 ／ 記　事 特殊作業員 ／ 人 ／ 0.571 ／ 普通作業員 ／ 〃 ／ 0.571 ／ 〔解説〕 1. 道床幅墨出し ・この作業は、人力により道床幅、サポート位置、まくらぎ仮置き箇所をあらかじめ現地に印付けする作業である。 ・この方法により難い場合は別途積算すること。 3　材料運搬 (1) 標準歩掛 ① レール運搬　（軌道延長 100m当り） 職　種 ／ 単位 ／ 歩　掛 ／ 記　事 軌道工 ／ 人 ／ 0.48 ／ 普通作業員 ／ 〃 ／ 0.48 ／ 運転手（特殊） ／ 〃 ／ 0.27+0.46×L ／ 重機誘導員 ／ 〃 ／ 0.13+0.23×L ／ （注）Ｌは集積場から施工箇所までの平均片道運搬距離(km) ② まくらぎ運搬　（軌道延長 100m当り） 職　種 ／ 単位 ／ 歩　掛 ／ 記　事 44 本/25m ／ 41 本/25m ／ 40 本/25m ／ 39 本/25m 運転手（特殊） ／ 人 ／ 0.93+1.71×L ／ 0.87+1.6×L ／ 0.84+1.54×L ／ 0.81+1.49×L ／ 普通作業員 ／ 〃 ／ 1.86+3.43×L ／ 1.73+3.2×L ／ 1.67+3.09×L ／ 1.61+2.97×L ／ （注）Ｌは集積場から施工箇所までの平均片道運搬距離(km) ③ 締結装置運搬　（軌道延長 100m当り） 職　種 ／ 単位 ／ 歩　掛 ／ 記　事 運転手（特殊） ／ 人 ／ 0.06+0.11×L ／ 普通作業員 ／ 〃 ／ 0.11+0.23×L ／ （注）Ｌは集積場から施工箇所までの平均片道運搬距離(km) ④ サポート受け材料運搬　（軌道延長 100m当り） 職　種 ／ 単位 ／ 歩　掛 ／ 記　事 運転手（特殊） ／ 人 ／ 0.143+0.34×L ／ 普通作業員 ／ 〃 ／ 0.29+0.69×L ／ （注）Ｌは集積場から施工箇所までの平均片道運搬距離(km)	1　道床幅墨出し（サポート位置出し前作業） (1) 標準歩掛 （軌道延長 100m　） 職　種 ／ 単位 ／ 歩　掛 ／ 記　事 特殊作業員 ／ 人 ／ 0.048 ／ 普通作業員 ／ 〃 ／ 0.095 ／ （新規） （新規）

ページ	改　正	現　行

(2) 機械経費

① レール運搬　(軌道延長 100m当り)

機械名	規格	運転日数	供用日数	軽油（㍑）
フォークリフト	2.5ｔ級	0.27+0.46×L	0.43+0.73×L	0.37+0.64×L

(注) Ｌは集積場から施工箇所までの平均片道運搬距離(km)

② まくらぎ運搬　(軌道延長 100m当り)

機械名	規格	まくらぎ間隔	運転日数	供用日数	軽油
フォークリフト	2.5ｔ級	44 本/25m	0.93+1.71×L	1.49＋2.74×L	1.30+2.40×L
		41 本/25m	0.87+1.60×L	1.39+2.56×L	1.21+2.24×L
		40 本/25m	0.84+1.54×L	1.34+2.47×L	1.17+2.16×L
		39 本/25m	0.81+1.49×L	1.29+2.38×L	1.13+2.08×L

(注) Ｌは集積場から施工箇所までの平均片道運搬距離(km)

③ 締結装置運搬　(軌道延長 100m当り)

機械名	規格	運転日数	供用日数	軽油（㍑）
フォークリフト	2.5ｔ級	0.06+0.11×L	0.09+0.18×L	0.08+0.16×L

(注) Ｌは集積場から施工箇所までの平均片道運搬距離(km)

④ サポート受け材料運搬　(軌道延長 100m当り)

機械名	規格	運転日数	供用日数	軽油（㍑）
フォークリフト	2.5ｔ級	0.14+0.34×L	0.29+0.55×L	0.20+0.48×L

(注) Ｌは集積場から施工箇所までの平均片道運搬距離(km)

〔解説〕

1. 材料運搬

- この作業は、軌きょう敷設前に施工基面内に集積された各種材料を施工箇所まで運搬する作業である。
- レール運搬は、フォークリフト２台縦列編成によりレールを２本同時に運搬することを想定している。
- レールは長尺物であるため、運搬中の周囲の安全確認を行うための重機械誘導員を配置することを標準とする。
- まくらぎ、締結装置、サポート受け材料の運搬は、フォークリフト 1 台により運搬することを想定している。
- サポート受け材料には、レールサポータ・パイプサポート・軌きょう仮受装置・安定プレートを含んでいる。
- この方法により難い場合は別途積算すること。

P. 7

4　まくらぎ配列・レール敷設

(1) 標準歩掛

① 軌道構造：レール 60 kg　まくらぎ：ＰＣ

(人／軌道延長 100m当り)

種　　別	44 本／25m 歩掛 軌道工	41 本／25m 歩掛 軌道工	40 本／25m 歩掛 軌道工	39 本／25m 歩掛 軌道工	記　　事
まくらぎ配列	6.0	5.6	5.5	5.4	
レール敷設	15.6(13.2)	15.0(12.7)	14.8(12.5)	14.7(12.4)	(　) は線ばね
計	21.6(19.2)	20.6(18.3)	20.3(18.0)	20.1(17.8)	(　) は線ばね

2　まくらぎ配列・レール敷設

(1) 標準歩掛

① 軌道構造：レール 60 kg　まくらぎ：ＰＣ

(人／軌道延長 100m＿＿)

種　　別	44 本／25m 歩掛 軌道工	41 本／25m 歩掛 軌道工	＿＿＿	39 本／25m 歩掛 軌道工	記　　事
まくらぎ配列	6.0	5.6	＿＿＿	5.4	
レール敷設	15.6(13.2)	15.0(12.7)	＿＿＿	14.7(12.4)	(　) は線ばね
計	21.6(19.2)	20.6(18.3)	＿＿＿	20.1(17.8)	(　) は線ばね

改　正

② 軌道構造：レール 50N　まくらぎ：ＰＣ

（人／軌道延長 100m当り）

種　　別	44 本／25m 歩掛 軌道工	41 本／25m 歩掛 軌道工	40 本／25m 歩掛 軌道工	39 本／25m 歩掛 軌道工	37 本／25m 歩掛 軌道工	記　事
まくらぎ配列	6.0	5.5	5.4	5.4	5.0	
レール敷設	13.9(11.8)	13.5(11.4)	13.3(11.3)	13.2(11.2)	12.9(10.9)	（　）は線ばね
計	19.9(17.8)	19.0(16.9)	18.8(16.7)	18.6(16.6)	17.9(15.9)	（　）は線ばね

（注）1. まくらぎ配列
まくらぎ本数比によって増減する。
2. レール敷設
まくらぎ本数比によって増減する。
（削除）
（削除）

③ タイプレート敷設

（人／100 枚当り）

種　　別	歩掛 軌道工	歩掛 普通作業員	記　事
60 kg・50N	3.00	0.30	

（注）1. タイプレートがまくらぎ工場で取付けられている場合は、計上しない。
2.「6-4-1　新設線軌道工事」を適用。

(2)材料費　（軌道延長 100m当り）

品　名	形　状	単位	数量	記　事
まくらぎ仮受材 バタ角	90×90	m³	1.6	損率換算 1パーティー分
まくらぎ仮受材 太鼓落し	φ120×4000	本	26.7	〃

5　サポート受設置

(1) 標準歩掛

① 単線の場合（レールサポータ有り）　（軌道延長　100m当り）

職　種	単位	歩　掛	記　事
軌道工	人	5.80	
特殊作業員	〃	9.10	
普通作業員	〃	7.10	

P. 8

② 単線の場合（レールサポータ無し）　（軌道延長　100m当り）

職　種	単位	歩　掛	記　事
軌道工	人	1.20	
普通作業員	〃	2.50	

③ 複線の場合（レールサポータ有り）　（軌道延長　100m当り）

職　種	単位	歩　掛	記　事
軌道工	人	4.30	
特殊作業員	〃	6.90	
普通作業員	〃	5.30	

現　行

② 軌道構造：レール 50N　まくらぎ：ＰＣ

（人／軌道延長 100m　）

種　　別	44 本／25m 歩掛 軌道工	41 本／25m 歩掛 軌道工		39 本／25m 歩掛 軌道工	37 本／25m 歩掛 軌道工	記　事
まくらぎ配列	6.0	5.5		5.4	5.0	
レール敷設	13.9(11.8)	13.5(11.4)		13.2(11.2)	12.9(10.9)	（　）は線ばね
計	19.9(17.8)	19.0(16.9)		18.6(16.6)	17.9(15.9)	（　）は線ばね

（注）1. まくらぎ配列
まくらぎ本数比によって増減する。
2. レール敷設
まくらぎ増減本数について
ＰＣまくらぎ　軌道工＝0.04 人／本を増減する。
3.「6-4-1　新設線軌道工事」を適用。
4.（　）内線ばね歩掛は、レール敷設歩掛の８５％を計上した。

③ タイプレート敷設

（人／100 枚　）

種　　別	歩掛 軌道工	歩掛 普通作業員	記　事
60 kg・50N	3.00	0.30	

（注）1. タイプレートがまくらぎ工場で取付けられている場合は、別途協議する。
2.「6-4-1　新設線軌道工事」を適用。

(2) 材料費

品　名	形　状	単位	数量	記　事
まくらぎ仮受材 バタ角	90×90	m³	必要数	

3　サポート受設置

(1) 標準歩掛

（軌道延長　100m　）

職　種	単位	歩　掛	記　事
軌道工	人	2.70	
特殊作業員	〃	5.40	
普通作業員	〃	2.70	

（新規）

（新規）

改　正

④　複線の場合（レールサポータ片側のみ）　（軌道延長　100m当り）

職　種	単位	歩　掛	記　事
軌道工	人	2.00	
特殊作業員	〃	2.30	
普通作業員	〃	3.00	

（略）

(3) 機械経費　（軌道延長　100m当り）

機械名		称呼	数　量 ①	②	③	④	記　事
＿＿＿＿	＿＿＿＿	＿	＿＿	＿＿	＿＿	＿＿	＿＿＿＿
＿＿＿＿		＿	＿＿	＿＿	＿＿	＿＿	
ハンマドリル	1.10kW　運転日数	日	4.57	－	3.43	1.14	1パーティ分
	供用日数	〃	7.31	－	5.49	1.83	〃
発動発電機	3KVA　運転日数	日	4.57	－	3.43	1.14	1パーティ分
	供用日数	〃	7.31	－	5.49	1.83	〃
	軽油	L	19.2	－	14.4	4.8	〃

〔解説〕

1. サポート受設置

・この作業は、レールサポータの設置・撤去およびパイプサポートの仮固定・撤去を行う作業である。

・この作業には、レールサポータ用のアンカー設置・撤去作業を含んでいる。

・この作業には、現場内小運搬作業を含んでいる。

・この方法により難い場合は別途積算すること。

P.9

6　軌きょう整正

(1) 標準歩掛

（軌道延長　100m当り）

職　種	単位	歩　掛	記　事
軌　道　工	人	11.5	
普通作業員	〃	9.20	

(2) 材料費

（軌道延長　100m当り）

品　名	形　状	単位	数　量	記　事
軌きょう仮受装置		基・日	2,400	1パーティ分 見積り（賃料）
安定プレート	ＰＬ50×50×3.2	kg	5.02	1パーティ分 全損

〔解説〕

1. 軌きょう整正

・この作業は、組み立てた軌きょうを所定の仕上り精度内に整正する作業である。

・この作業には、軌きょう仮受装置および安定プレートの設置・撤去作業を含んでいる。

・この作業には、現場内小運搬作業を含んでいる。

現　行

（新規）

（略）

(3) 機械経費　＿＿＿＿＿＿＿＿

機械名		称呼	数　量 ＿＿	＿＿	＿＿	＿＿	記　事
ラフテレーンクレーン	油圧　4.8～4.9ｔ	日	必要数	＿＿	＿＿	＿＿	賃料による
とび工		人	必要数	＿＿	＿＿	＿＿	
ハンマドリル	1.10kW　運転日数	日	必要数	＿＿	＿＿	＿＿	＿＿＿＿
	供用日数	〃	必要数	＿＿	＿＿	＿＿	＿＿
発動発電機	3KVA　運転日数	日	必要数	＿＿	＿＿	＿＿	＿＿＿＿
	供用日数	〃	必要数	＿＿	＿＿	＿＿	＿＿
	軽油	L	必要数	＿＿	＿＿	＿＿	＿＿

（新規）

4　軌きょう整正

(1) 標準歩掛

（軌道延長　100m＿＿）

職　種	単位	歩　掛	記　事
軌　道　工	人	11.5	
普通作業員	〃	9.20	

(2) 材料費

＿＿＿＿＿＿＿＿

品　名	形　状	単位	数　量	記　事
軌きょう仮受装置		基	必要数	＿＿＿＿ 見積り＿＿
安定プレート	ＰＬ50×50×3.2	kg	必要数	＿＿＿＿ 全損

（新規）

改　正

7　レール加工

項　目	条件	単位	歩　掛		機械経費等含燃料その他	記　事
			軌道工	普通作業員		
レール切断	60 kg	1 口	0.06 人	0.11 人	390 円	ガス切断を除く
	50N	1〃	0.05 〃	0.10 〃	340〃	
レール穴あけ	60 kg	1 穴	0.02 人	0.02 人	57 円	ドリル使用
	50N	1〃	0.02 〃	0.02 〃	57〃	

（注）「6-4-1　新設線軌道工事」を適用。

（人／軌道延長 100 当り）

項　目	条　件	単位	歩掛	記　事
			軌道工	
レール曲げ	60 kg　600≧R＞400	人	1.80	
	60 kg　400≧R	〃	2.50	
	50N　400≧R	〃	2.10	

8　器具損料

器具損料額　　3,230 円／軌道延長 100m

（注）「6-4-1　新設線軌道工事」を適用。

P. 10

9　油脂類

（円／軌道延長 100m当り）

種　別	構造	金　額	記　　事
60 kg	P C	3,210 円	板ばねに適用 （グリース、マシン油、ボンド、防錆油、調合ペイント）
50N	P C	3,200 円	板ばねに適用 （グリース、マシン油、ボンド、防錆油、調合ペイント）

（注）「6-4-1　新設線軌道工事」を適用。

10　軌道関連材料搬入費

実情により計上する。

P. 11

Ⅲ　道床新設

1　一般事項

（1）この歩掛は、まくらぎ直結軌道の道床コンクリート新設に適用する。

（2）道床新設の歩掛はまくらぎ種類に関わらず適用できる。

2　路盤面清掃

（1）給水設備　　上水道よりの分岐

（仮設撤去１回当り）

種　別　　管　径	φ25 ㎜	記　　事
固定費	210,000 円／箇所	申請手数料含む
可動費　露出配管の場合	1,600 円／m	塩化ビニル管埋設工事、材料費含む。

現　行

5　レール加工

項　目	条件	単位	歩　掛		機械経費等含燃料その他	記　事
			軌道工	普通作業員		
レール切断	60 kg	1 口	0.06 人	0.11 人	390 円	ガス切断を除く
	50N	1〃	0.05 〃	0.10 〃	340〃	
レール穴あけ	60 kg	1 穴	0.02 人	0.02 人	57 円	ドリル使用
	50N	1〃	0.02 〃	0.02 〃	57〃	

（注）「6-4-1　新設線軌道工事」を適用。

（人／軌道延長 100m　　）

項　目	条　件	単位	歩掛	記　事
			軌道工	
レール曲げ	60 kg　600≧R＞400	人	1.80	
	60 kg　400≧R	〃	2.50	
	50N　400≧R	〃	2.10	

6　器具損料

器具損料額　　3,230 円／軌道延長 100m

（注）「6-4-1　新設線軌道工事」を適用。

7　油脂類

（円／軌道延長 100m　　）

種　別	構造	金　額	記　　事
60 kg	P C	3,210 円	板ばねに適用 （グリース、マシン油、ボンド、防錆油、調合ペイント）
50N	P C	3,200 円	板ばねに適用 （グリース、マシン油、ボンド、防錆油、調合ペイント）

（注）「6-4-1　新設線軌道工事」を適用。

8　軌道関連材料搬入費

実情により計上する。

Ⅲ　道床新設

（新規）

1　路盤面清掃

（1）給水設備　　上水道よりの分岐

（仮設撤去１回当り）

管　径種　別	φ25 ㎜	記　　事
固定費	210,000 円／箇所	申請手数料含む
可動費　露出配管の場合	1,600 円／m	塩化ビニル管埋設工事、材料費含む。

改　正

水道料金	各地区の定めにより計上する。	

（注）1．固定費
工区割の「パーティ数分」を計上
2．可動費
露出配管延長は　工区延長を計上する。

(2) 水洗い清掃

（軌道延長　100m当り）

職　種	単位	歩　掛	記　事
普通作業員	人	3.33	

(3) 機械経費

（軌道延長　100m当り）

機　械　名	規格	単位	数量	記　事
工事用高圧洗浄機	吐出量 30.1L/min 圧力 4.9MPa、重量=0.11t	日	0.2	運転時間当たり換算値損料
発動発電機	ガソリンエンジン駆動 5kVA	日	3.5	運転時間当たり換算値損料
簡易トロリー	1ｔアルミセーフティロック付き	日	0.83	運転日当たり損料
		日	1.33	供用日当たり損料
ガソリン		ℓ	15.75	

（略）

(5) 材料費

（軌道延長　100m当り）

品　名	形状	単位	数量	記　事
ポリスチレンフォーム断熱材	7.70×70×25	m³	0.1	

P. 12

〔解説〕
1．路盤面清掃
・この作業は、道床コンクリート打設前に人力による型枠内の水洗い清掃を行うものである。
・清掃作業は、高圧洗浄機を用いて行う。
・作業に用いる機器類は、簡易トロを用いて軌きょう上を運搬する。
・高架橋等の明かり区間では、実情により目地・排水目皿の防護を計上してもよい。
・この方法により難い場合は別途積算すること。

3　型枠工

(1) 型枠の製作・設置・撤去歩掛

（型枠面積 100 m²当り）

職　　種	単位	施工歩掛
土木一般世話役	人	5.6
型枠工	〃	21.7
普通作業員	〃	17.8
諸雑費率	%	15

現　行

水道料金	各地区の定めにより計上する。	

（注）1．固定費
工区割の「パーティ数分」を計上
2．可動費
露出配管延長は　工区延長を計上する。
3．「6-1-4　コンクリート工」を適用。

(2) 水洗い清掃

（軌道延長　100m当り）

職　種	単位	歩　掛	記　事
普通作業員	人	0.8	

(3) 機械経費

（軌道延長　100m当り）

機　械　名	称呼	数量	記　事
コンプレッサー（吐出量＝1.4 m³/min、出力＝13 kW、重量＝0.4ｔ）			
運転時間当り換算値（日）	日	0.2	
軽油	ℓ	3.5	

（略）

(5) 材料費

（軌道延長　100m当り）

品　名	形状	単位	数量	記　事
発泡スチロール	（T25　2,000×1,000×500）	m³	0.1	

（新規）

2　型枠工

(1) 型枠の製作・設置・撤去歩掛

（型枠面積 100 m²当り）

職　　種	単位	施工歩掛
土木一般世話役	人	3.5
型　　枠　　工	〃	13.5
普　通　作　業　員		11.1
諸　雑　費　率	%	15

ページ	改　正	現　行
	（注）1. 上表はまくらぎ直結軌道の道床コンクリート用型枠の組立・設置・撤去、水抜パイプの設置、はく離剤塗布及びケレン作業の他、型枠用合板、型枠用金物、組立支持材、さん木、洋釘、はく離剤及び電気ドリル、電動ノコギリ損料、電力に関する経費、仮設材の持上（下）げ及び型枠の製作・組立・解体に要する機械の費用等、その施工に要する全ての費用を含む。 2. 諸雑費は、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 水抜きパイプ材料は、必要量を別途計上する。 4. 単線トンネル区間では、歩掛補正 1.5 を考慮する。 5. 営業線近接作業の補正が生じた場合は、下記により補正積算地区労務単価を算出し計上する。 W＝K×X　（円止め、小数 1 位は切り捨て） W：補正積算地区労務単価（円） K：積算地区労務単価（基準賃金）（円） X：補正率 X＝1＋（0.75×Y）　（小数 4 位止め） Y：歩掛補正率%（積算標準 第 4 工事の積算 2 労務費　(6) 歩掛補正率を適用すること （削除）	（注）1. 上記歩掛は、水抜きパイプの設置、はく離剤塗布及びケレン作業を含むものであるが、水抜きパイプの有無にかかわらず適用できる。 2. 諸雑費は、型枠用合板、型枠用金物、組立支持材、はく離材及び電気ドリル、電動ノコギリ損料、電力に関する経費、仮設材持上（下）機械に要する費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 水抜きパイプ材料は、必要量を別途計上する。 4. 営業線近接作業の補正が生じた場合は、労務費の合計額に 90%を乗じ、その金額に歩掛補正率を乗じて計上する。 5.「6-1-4　コンクリート工　小型構造物Ⅱ」を適用。
	(2) 目地板設置工 目地板を設置する場合は、「積算に使用できる国土交通省積算基準集・⑱目地・止水板設置工」により別途計上する。 （削除）	(2) 目地板設置工 ・設置歩掛 （目地板 10 ㎡当り） 職　種 ／ 単位 ／ 数　量 ／ 記　事 土木一般世話役 ／ 人 ／ 0.05 ／ 普通作業員 ／ 〃 ／ 0.29 ／ （注）1. 材料は、設計数量に　「12%」割増 2.「6-1-4　コンクリート工」を適用。
	4　型枠運搬工 (1) 型枠運搬 ・標準歩掛　（軌道延長 100m） 職　種 ／ 単位 ／ 歩　掛 ／ 記　事 運転手（特殊） ／ 人 ／ 0.10+0.57×L ／ 普通作業員 ／ 〃 ／ 0.19+1.14×L ／ （注）L は集積場から施工箇所までの平均片道運搬距離(km)	（新規）
P. 13	・機械経費　（軌道延長 100m） 機械名 ／ 規格 ／ 運転日数 ／ 供用日数 ／ 軽油（㍑） フォークリフト ／ 2.5 t 級 ／ 0.10+0.57×L ／ 0.15+0.91×L ／ 0.13+0.80×L （注）L は集積場から施工箇所までの平均片道運搬距離(km) 〔解説〕 1. 型枠運搬 ・施工基面内に集積された型枠材料をフォークリフトにて施工箇所まで運搬する作業である。	

改　正

・型枠材料を施工基面内から運搬する場合に計上してもよい。
・この方法により難い場合は別途積算すること。

5　軌きょう防護フィルム設置撤去工

(1) 軌きょう防護フィルム設置撤去

・標準歩掛　　(軌道延長　100m当り)

職　種	単位	歩掛	記　事
普通作業員	人	23.5	

・材料費　　(軌道延長　100m当り)

品　名	形　　状	単位	数量	記　事
ビニルフィルム	0.1㎜×135㎝×100m	m	600	

(注) ビニルフィルムの産業廃棄物処理費用は、別途計上する。

〔解説〕

1. 軌きょう防護フィルム設置撤去

・この作業は、道床コンクリート打設時の汚損防止として、レール・まくらぎ・締結装置等に防護用にビニルフィルムを人力で設置撤去する作業である。
・この方法により難い場合は別途積算すること。

6　鉄筋工

(1) 加工・組立　　「コンクリート要領 4-1 鉄筋工」による。
(2) 加工・組立の対象数量　＝設計重量
(3) 鉄筋材料　　＝設計重量　３%増
(4) 歩掛補正　　＝単線トンネル区間は、歩掛補正 1.5 を考慮すること。

(削除)

7　鉄筋運搬工

(1) 鉄筋運搬

・標準歩掛　　(軌道延長　100m当り)

職　種	単位	歩　掛	記　事
運転手（特殊）	人	0.10+0.57×L	
普通作業員	〃	0.19+1.14×L	

(注) Ｌは集積場から施工箇所までの平均片道運搬距離(km)

・機械経費　　(軌道延長　100m当り)

機械名	規格	運転日数	供用日数	軽油（ﾘｯﾄﾙ）
フォークリフト	2.5ｔ級	0.10+0.57×L	0.15+0.91×L	0.13+0.80×L

(注) Ｌは集積場から施工箇所までの平均片道運搬距離(km)

P. 14

〔解説〕

1. 鉄筋運搬

・施工基面内に集積された鉄筋材料をフォークリフトにて施工箇所まで運搬する作業である。
・鉄筋を施工基面内で運搬する場合に計上してもよい。
・この方法により難い場合は別途積算すること。

現　行

(新規)

(3) 軌きょう防護フィルム設置撤去

・標準歩掛　　(軌道延長　100m当り)

職　種	単位	歩掛	記　事
普　通　作　業　員	人	7.8	

・材料費　　(軌道延長　100m当り)

品　名	形　　状	単位	数量	記　事
ビニルフィルム	0.1㎜×135㎝×100m	m	593	

(注) ビニルフィルムの産業廃棄物は、別途協議する。

(新規)

3　鉄筋工

(1) 加工・組立　　＝市場単価方式
(2) 加工・組立の対象数量　＝設計重量
(3) 鉄筋材料　　＝設計重量　３%増

(注)「6-1-4　コンクリート工」を適用。

(新規)

改　正

8　軌きょう再整正

・標準歩掛

（軌道延長　100m当り）

職　種	単位	歩　掛	記　事
軌　道　工	人	4.3	
普通作業員	〃	1.7	

〔解説〕

1. 軌きょう再整正

・この作業は、コンクリート打設前に軌きょうを所定の仕上り精度内に再整正する作業である。

・この方法により難い場合は別途積算すること。

9　コンクリート打設

(1)　打設種別：ポンプ車打設

(2)　１回当り打設量：設計断面より計算（打設延長＝100m）

(3) コンクリートポンプ車規格：トラック架装・ブーム式 90～110m³/h

(4) コンクリートポンプ車打設歩掛

（設計 10m³当り）

名　　称	単位	設計日打設量	
		10m³以上 300m³未満	300m³以上 600m³未満
		標準打設量	
		81 m³	400 m³
土木一般世話役	人	0.60	0.17
特殊作業員	〃	1.74	0.87
普通作業員	〃	2.34	0.95
コンクリートポンプ車運転時間	h	1.03	0.27
諸雑費率	%	1	1

(注) 1. 上表には、ホースの筒先作業を行う機械付補助労務を含む。

2. コンクリートポンプ車から作業範囲 30mを越える場合は、越えた部分の圧送管損料を計上する。

3. 歩掛には、天端仕上げ、通常の養生費（散水養生等）、軌きょう仮受装置部の後処理等を含む。なお、特殊養生が必要な場合は、別途計上する。

4. 諸雑費率は、バイブレーター損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、コンクリートポンプ車損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

5. コンクリートのロス率は 6%とする。

（削除

6. 軌間内に排水設備を設ける場合は、別途計上する。

7. 現地の状況に合わない場合は、実情による。

8. 単線トンネル区間では、歩掛補正 1.5 を考慮する。

P. 15

(5) 機械の運転経費

機　械　名	規　　格	指　定　事　項
コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 90～110m³/h	機械損料　→　コンクリートポンプ車 運転労務費　→　0.14 燃料消費量　→　15.5L/h
		機械損料　→　コンクリート圧送管（径 125mm） 単　　位　→　m・h 数　　量　→　L×1h

現　行

4　軌きょう再整正

・標準歩掛

（軌道延長　100m当り）

職　種	単位	歩　掛	記　事
軌　道　工	人	1.20	
普通作業員	〃	0.50	

（新規）

5　コンクリート打設

(1)　打設種別：ポンプ車打設

(2)　１回当り打設量：設計断面より計算（打設延長＝100m）

(3) コンクリートポンプ車規格：トラック架装・ブーム式 90～110m³/h

(4) コンクリートポンプ車打設歩掛

（設計 10m³当り）

名　　称	単位	設計日打設量	
		10m³以上 300m³未満	300m³以上 600m³未満
		標準打設量	
		81 m³	400 m³
土木一般世話役	人	0.14	0.04
特殊作業員	〃	0.40	0.20
普通作業員	〃	0.54	0.22
コンクリートポンプ車運転時間	h	1.03	0.27
諸雑費率	%	1	1

(注) 1. 上表には、ホースの筒先作業を行う機械付補助労務を含む。

2. コンクリートポンプ車から作業範囲 30mを越える場合は、越えた部分の圧送管損料を計上する。

3. 諸雑費率は、バイブレーター損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、コンクリートポンプ車損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

4. コンクリートのロス率は 6%とする。

5. 「6-1-4　コンクリート工　コンクリートポンプ車打設」を適用。

6. 現地の状況に合わない場合は、実情により別途査定すること。

7. 軌間内に排水設備を設ける場合は、別途計上すること。

(5) 機械の運転経費

機　械　名	規　　格	指　定　事　項
コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 90～110m³/h	機械損料　→　コンクリートポンプ車 運転労務費　→　0.14 燃料消費量　→　15.5L/h
		機械損料　→　コンクリート圧送管（径 125mm） 単　　位　→　m・h 数　　量　→　L×1h

<table>
<tr><th>ページ</th><th>改　正</th><th>現　行</th></tr>
<tr><td>P. 16</td><td>

（注）Ｌは、コンクリートポンプ車から作業範囲 30mを超えた部分の圧送管延長とする。

(6) 圧送管組立・撤去歩掛

コンクリートポンプ車から作業範囲 30mを越える場合は、越えた部分の圧送管延長部分については、「コンクリート要領 4-2-4-1 圧送管組立、撤去」により計上する。

なお、これにより難い場合は実情による。

（削除）

（削除）

Ⅳ　ロングレール設定替

1　ロングレール設定替

(1) 標準歩掛

（軌道延長 100m当り）

職　種	単位	常温	緊張器使用	加熱器使用	記　事
軌道工	人	2.83（2.40）	3.11（2.64）	3.70（3.14）	（）は線ばね
普通作業員	〃	1.32（1.12）	1.42（1.20）	1.80（1.53）	（）は線ばね

(2) 材料費

（軌道延長 100m当り）

種　別	品名	単位	数量	記　事
燃料等	灯油	ℓ	19.0	加熱器使用の場合

(3) 使用機械器具

機械名	形式	呼称	数量	記　事
レール加熱器	石油式	台	2	加熱器使用の場合
ボルト緊解機	電動式	〃	8	線ばね以外の場合
発動発電機	ボルト緊解機用	〃	8	〃
低ローラ	180 ㎜	個	200	
レール吊上器	1.0 t	組	11	
レール緊張器	110 t	台	2	

（注）機械損料は、軌道用機械損料算定表による。

</td><td>

（注）Ｌは、コンクリートポンプ車から作業範囲 30mを超えた部分の圧送管延長とする。

(6) 圧送管組立・撤去歩掛

コンクリートポンプ車から作業範囲 30mを越える場合は、越えた部分の圧送管延長部分について次表の労務を組立・撤去歩掛として計上する。

なお、これにより難い場合は別途考慮する。

・圧送管組立・撤去歩掛

（10m当り）

名　　称	単位	組立労務	撤去労務
普通作業員	人	0.26	0.20

（注）1. 圧送管の固定足場（受枠）を必要とする場合は、別途計上する。

2.「6-1-4　コンクリート工」を適用。

6　養生工

一般養生工の歩掛は、次表を標準とする。

（設計 10㎥当り）

名　　称	単位	数量
普通作業員	人	0.69
諸雑費率	%	19

（注）1. 諸雑費は、シート・養生マット・角材・パイプ・散水等に使用する機械の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

2.「6-1-4　コンクリート工　小型構造物Ⅱ」を適用。

（新規）

</td></tr>
</table>

ページ	改　正	現　行

P. 17

(4) その他

・ロングレール設定替の１日の施工数量は、常温 1,000m/軌道延長、緊張器使用 800m/軌道延長、加熱器使用 640m/軌道延長とする。

2　IJ 挿入工

(1) IJ 挿入

① 標準歩掛　（1 箇所当り）

職　種	単位	歩　掛	記　事
軌道工	人	1.43	
普通作業員	〃	1.15	

（注）1.　２次溶接後ＩＪ挿入時までの、仮レール挿入、継目板補強を含んでいる。
2.　レール切断を含んでいる。
3.　ＩＪ設置箇所のタイプレート（継目用）敷設を含んでいる。
4.　１箇所とは、左右レールを合わせた２本分のことである。

② 機械経費　（1 箇所当り）

名　称	金額（円）	記　事
機械経費他	2,070	機械経費（レール切断，山越器類）を含む

(2) IJ 運搬

① 標準歩掛　（1 箇所当り）

職　種	単位	歩　掛	記　事
軌道工	人	0.03	
普通作業員	〃	0.03	
とび工	〃	0.07+0.14×L	
普通作業員	〃	0.10+0.21×L	
重機誘導員	〃	0.03+0.07×L	

（注）1.　L は集積場から施工箇所までの平均片道運搬距離(km)
2.　IJ レールの運搬は、簡易トロリーによる人力運搬作業である。
3.　運搬作業には、IJ レールの積込・取卸し作業を含んでいる。
4.　上記によらない場合は、実情に合わせて積算する。

② 機械経費　（1 箇所当り）

機械名	規格	運転日数	供用日数	記事
ラフテレーンクレーン	16ｔ吊	－	0.23+0.50×L	賃料
簡易トロリー	1ｔ積 アルミ製 セーフティロック付き	0.47+1.00×L	0.75+1.60×L	
レール山越器	1.5ｔ吊り 2,300×800 アルミ製	－	0.75+1.60×L	

（注）1.　L は集積場から施工箇所までの平均片道運搬距離(km)
2.　ラフテレーンクレーンの規格は、実情によること。
3.　上記によらない場合は、実情に合わせて積算する。

P. 18

Ⅴ　その他

1　消音バラスト散布

（新規）

ページ	改　正	現　行
P. 19		

(1) 標準歩掛

(軌道延長 100m当り)

職　種	単位	歩　掛	記　事
軌道工	人	1.78+1.94×L	
普通作業員	〃	7.12+7.77×L	
モータカー運転手	〃	1.78+1.94×L	
運転手（特殊）	〃	1.78+1.94×L	
重機誘導員	〃	1.78+1.94×L	

（注）Ｌは集積場から施工箇所までの平均片道運搬距離(km)

(2) 機械経費

(軌道延長 100m当り)

機械名	規格	運転時間又は運転日	供用日数	軽油（ﾘｯﾄﾙ）
バックホウ	標準型・排出ガス対策型（第２次基準値）山積 0.28m3（平積 0.20m3）	12.47+13.6×L（時間）	2.85+3.11×L	137.14+149.6×L
ラフテレーンクレーン（賃料）	16ｔ吊	－	2.85+3.11×L	－
コンクリートバケット	両開ｺﾞﾑｼｰﾙ付ﾛｰﾗｹﾞｰﾄ型 ﾊﾞｹｯﾄ容量 1m3	1.78+1.94×L	2.85+3.11×L	－
軌陸ダンプ	3t3 転式	12.47+13.6×L（時間）	2.85+3.11×L	78.54+85.68×L

（注）Ｌは集積場から施工箇所までの平均片道運搬距離(km)

〔解説〕

1. 消音バラスト散布

・この作業は、軌陸ダンプにより消音バラストを散布する作業である。

・軌道延長当りの消音バラスト断面積は、標準 0.6 ㎡とする。

・消音バラスト散布は、断面積比により歩掛および機械経費を増減する。

・ラフテレーンクレーンの規格は、実情によること。

・この方法により難い場合は実情による。

2　脱線防止ガード新設

(1) 標準歩掛

① 受台積卸し・配列取付　(敷設延長 100m当り)

職　種	単位	60 kg	50N	記　事
軌道工	人	2.20	2.20	
普通作業員	〃	1.20	1.00	

② 脱線防止ガード加工・取付　(敷設延長 100m当り)

職　種	単位	歩掛	記　事
鉄骨工	人	2.30	

③ 脱線防止ガード運搬　(敷設延長 100m当り)

職　種	単位	歩　掛	記　事
とび工	人	0.99+1.19×L	
普通作業員	〃	1.49+1.79×L	
重機誘導員	〃	0.50+0.60×L	

（注）Ｌは集積場から施工箇所までの平均片道運搬距離(km)

ページ	改　正	現　行
P.20		

改　正

(2) 機械経費

(敷設延長 100m当り)

機械名	規格	運転日数	供用日数	記事
ラフテレーンクレーン	16ｔ吊	－	0.79+0.95×L	賃料
簡易トロリー	1ｔ積 アルミ製 セーフティロック付き	0.99+1.19×L	1.59+1.91×L	

(注) Ｌは集積場から施工箇所までの平均片道運搬距離(km)

(3) 材料費

(敷設延長 100m当り)

種　別	規格	単位	数量	記事
脱線防止ガード	L=6,000mm	組	16.7	取付装置含む

〔解説〕

1. 脱線防止ガード新設

・この作業は、脱線防止ガードを人力により運搬、敷設する作業である。

・ラフテレーンクレーンの規格は、実情によること。

・この方法により難い場合は実情による。

Ⅵ　単価表及び歩掛条件入力基準表

1　単価表

(略)

②材料運搬　1m当り単価表

歩掛コード	S380130

名　称	規　格	単位	数量	摘　要
軌道工		人		3 (1) 標準歩掛①・②・③・④
普通作業員		〃		〃
運転手（特殊）		〃		〃
重機誘導員		〃		〃
フォークリフト	2.5ｔ級	日		3 (2) 機械経費①・②・③・④ 運転日及び供用日当り
燃料（軽油）		L		
合　計				
1　m　当　り		m	100	

③まくらぎ配列・レール敷設　1m当り単価表

歩掛コード	S330120

名　称	規　格	単位	数量	摘　要
軌道工		人		4 まくらぎ配列・レール敷設 (1) 標準歩掛　①・② まくらぎ配列

現　行

Ⅳ　単価表及び歩掛条件入力基準表

1　単価表

(略)

(新規)

②まくらぎ配列・レール敷設　1m当り単価表

歩掛コード	S330120

名　称	規　格	単位	数量	摘　要
軌道工		人		2 まくらぎ配列・レール敷設 (1) 標準歩掛　①・② まくらぎ配列
軌道工		人		2 まくらぎ配列・レール敷設 (1) 標準歩掛　①・② レール敷設

ページ	改　正	現　行

改正

軌　道　工		人		4 まくらぎ配列・レール敷設 (1)標準歩掛　①・② レール敷設
合　計				
1　m　当　り		m	100	

（削除）

P. 21

④タイプレート敷設　1枚当り単価表

歩掛コード	S330130

名　称	規　格	単位	数量	摘　要
軌　道　工		人		4 まくらぎ配列・レール敷設 (1)標準歩掛　③
普通作業員		人		〃
合　計				
1　枚　当　り		枚	100	

⑤まくらぎ仮受材　1m当り単価表

歩掛コード	S330121

名　称	規　格	単位	数量	摘　要
まくらぎ仮受材 （松バタ角）		m3		4 まくらぎ配列・レール敷設 (2)材料費
まくらぎ仮受材 （太鼓落し）		本		〃
合　計				
1　m　当　り		m	100	

(注) パーティ数(P)を、別途考慮する。
（削除）

⑥サポート受設置　軌道延長 1m当り単価表

歩掛コード	S330140

名　称	規　格	単位	数量	摘　要
サポート受け設置 （労務）		m		⑥-1　単価表
サポート受け設置 （材料費）		m		⑥-2　単価表
サポート受け設置 （機械経費）		m		⑥-3　単価表

現行

合　計				
1　m　当　り		m	100	

（注）1. ローカル設定のため、要領に存在しない選択条件があり、軌道構造：レール 60kg　まくらぎＰＣの場合のまくらぎ本数 40 本／25mの場合は以下の通りとなる。

種　別	40 本／25m 歩掛 軌道工
まくらぎ配列	5.5
レール敷設	14.7
計	20.2

③タイプレート敷設　1枚当り単価表

歩掛コード	S330130

名　称	規　格	単位	数量	摘　要
軌　道　工		人		2 まくらぎ配列・レール敷設 (1)標準歩掛　③
普通作業員		人		〃
合　計				
1　枚　当　り		枚	100	

④まくらぎ仮受材　1m当り単価表

歩掛コード	S330121

名　称	規　格	単位	数量	摘　要
まくらぎ仮受材 （松バタ角）		m3		2 まくらぎ配列・レール敷設 (2)材料費
合　計				
1　m　当　り		m	A	

(注) ローカル設定での数量算出については、以下の通り。
まくらぎ仮受材(松バタ角)数量＝仮受材準備数量×仮受材使用回数×0.25
仮受材準備数量　0.09×0.09×2×100×パーティ数(P)
仮受材使用回数　施工延長(m)÷100÷パーティ数(P)
A:施工延長(単線延長)(m)

⑤サポート受設置　軌道延長 1m当り単価表

歩掛コード	S330140

名　称	規　格	単位	数量	摘　要
サポート受け設置 （労務）		m		⑤-1　単価表
サポート受け設置 （材料費）		m		⑤-2　単価表
サポート受け設置 （機械経費）		m		⑤-3　単価表

ページ

改　正

合　　計				
1　m　当　り		m	A	

(注)　A:施工延長(m)

⑥-1　サポート受設置（労務）　1m当り単価表

歩掛コード	S330141

名　　称	規　格	単位	数量	摘　　要
軌　道　工		人		5 (1) サポート受設置①・②・③・④
特 殊 作 業 員		人		〃
普 通 作 業 員		人		〃
合　　計				
1　m　当　り		m	100	

(削除)

P. 22

⑤-2 サポート受設置（材料費）　1m当り単価表

歩掛コード	S330142

名　　称	規　格	単位	数量	摘　　要
レールサポータ	H-150×150×7×10	基		5 (2) 材料費
パイプサポート賃料	小型 1200～2100(mm)	本		〃
パイプサポート基本料	小型 1200～2100(mm)	本･回		〃
アンカーボルト	M20×130mm	本		〃
スクラップ	特級 A	t		〃
合　　計				
1　m　当　り		m	100	

(注) ローカル設定での、各材料の数量算出は以下の通り。
供用日数　施工延長(m)÷300×30÷パーティ数(P)
(削除)

【一般区間】
①の場合：パイプサポート数量　80 本/100m×3 セット×供用日数×パーティ数(P)
パイプサポート基本料数量　80 本/100m×3 セット×パーティ数(P)
レールサポート受数量　80 基/100m×3 セット×パーティ数(P)
アンカーボルト数量　80 基/100m×施工延長(m)÷100×4 本/基
スクラップ数量　80 基/100m×3 セット×18.7 kg/基×パーティ数(P)÷1000

現　行

合　　計				
1　m　当　り		m	A	

(注)　A:施工延長(m)

⑤-1　サポート受設置（労務）　1m当り単価表

歩掛コード	S330141

名　　称	規　格	単位	数量	摘　　要
軌　道　工		人		3　サポート受設置(1)
特 殊 作 業 員		人		〃
普 通 作 業 員		人		〃
合　　計				
1　m　当　り		m	100	

(注) ローカル設定により要領と数量が異なる。
単線：軌道工　3.6 人／特殊作業員　7.2 人／普通作業員　3.6 人
複線：3 サポート受設置(1)の通り

⑤-2 サポート受設置（材料費）　1m当り単価表

歩掛コード	S330142

名　　称	規　格	単位	数量	摘　　要
レールサポータ受	H-150×150×7×10	基		3　サポート受設置(2)
パイプサポート賃料	小型 1200～2100(mm)	本		〃
パイプサポート基本料	小型 1200～2100(mm)	本･回		〃
アンカーボルト	M20×130mm	本		〃
スクラップ	特級 A	t		〃
合　　計				
1　m　当　り		m	100	

(注) ローカル設定での、各材料の数量算出は以下の通り。
供用日数　施工延長(m)÷400×30÷パーティ数(P)
パイプサポート数量　80×3×供用日数×パーティ数(P)
パイプサポート基本料数量　80×3×パーティ数(P)
単線の場合：レールサポート受数量　80×3×パーティ数(P)
アンカーボルト数量　80×施工延長(m)÷100×4
スクラップ数量　80×3×18.7×パーティ数(P)÷1000
複線の場合：レールサポート受数量　60×3×パーティ数(P)
アンカーボルト数量　60×施工延長(m)÷100×4
スクラップ数量　60×3×18.7×パーティ数(P)÷1000

(新規)

改　正

②の場合：パイプサポート数量　80本/100m×3セット×供用日数×パーティ数(P)
パイプサポート基本料数量　80本/100m×3セット×パーティ数(P)
③の場合：パイプサポート数量　80本/100m×3セット×供用日数×パーティ数(P)
パイプサポート基本料数量　80本/100m×3セット×パーティ数(P)
レールサポート受数量　60基/100m×3セット×パーティ数(P)
アンカーボルト数量　60基/100m×施工延長(m)÷100×4本/基
スクラップ数量　60基/100m×3セット×18.7kg/基×パーティ数(P)÷1000
④の場合：パイプサポート数量　60本/100m×3セット×供用日数×パーティ数(P)
パイプサポート基本料数量　60本/100m×3セット×パーティ数(P)
レールサポート受数量　20基/100m×3セット×パーティ数(P)
アンカーボルト数量　20基/100m×施工延長(m)÷100×4本/基
スクラップ数量　20基/100m×3セット×18.7kg/基×パーティ数(P)÷1000

【単線トンネル区間】
①の場合：パイプサポート数量　80本/100m×2セット×供用日数×パーティ数(P)
パイプサポート基本料数量　80本/100m×2セット×パーティ数(P)
レールサポート受数量　80基/100m×2セット×パーティ数(P)
アンカーボルト数量　80基/100m×施工延長(m)÷100m×4本/基
スクラップ数量　80基/100m×2セット×18.7×パーティ数(P)÷1000
③の場合：パイプサポート数量　80本/100m×2セット×供用日数×パーティ数(P)
パイプサポート基本料数量　80本/100m×2セット×パーティ数(P)
④の場合：パイプサポート数量　80本/100m×2セット×供用日数×パーティ数(P)
パイプサポート基本料数量　80本/100m×2セット×パーティ数(P)

P.23

⑥-3 サポート受設置（機械経費）　1m当り単価表

歩掛コード	S330143

名　称	規　格	単位	数量	摘　要
ハンマドリル		日		5（3）機械経費①・②・③・④ 運転日当り損料
ハンマドリル		日		5（3）機械経費①・②・③・④ 供用日当り損料
発動発電機	3KVA	日		5（3）機械経費①・②・③・④ 運転日当り損料
発動発電機	3KVA	日		5（3）機械経費①・②・③・④ 供用日当り損料
燃料（軽油）		L		発動発電機3KVA
合　計				
1　m　当り		m	100	

(注) パーティ数(P)を、別途考慮する。
(削除)

現　行

⑤-3 サポート受設置（機械経費）　1m当り単価表

歩掛コード	S330143

名　称	規　格	単位	数量	摘　要
とび工		人		3　サポート受設置(3)
ラフテレーンクレーン	油圧式4.9t	日		3　サポート受設置(3)　賃料
ハンマドリル		日		3　サポート受設置(3) 運転日当り損料
ハンマドリル		日		3　サポート受設置(3) 供用日当り損料
発動発電機	3KVA	日		3　サポート受設置(3) 運転日当り損料
発動発電機	3KVA	日		3　サポート受設置(3) 供用日当り損料
燃料（軽油）		L		発動発電機3KVA
合　計				
1　m　当り		m	100	

(注) ローカル設定での、各機械経費の数量算出は以下の通り。
ラフテレーンクレーン使用日数　0.5×2×パーティ数(P)
ハンマドリル供用日数　ハンマドリル運転日数×1.6
軽油数量　発動発電機運転日数×7×0.6
単線の場合：ハンマドリル運転日数　0.8×19÷420×施工延長(m)
発動発電機運転日数　0.8×19÷420×施工延長(m)
複線の場合：ハンマドリル運転日数　0.6×19÷420×施工延長(m)
発動発電機運転日数　0.6×19÷420×施工延長(m)

ページ	改　正	現　行

P. 24

改正

⑦軌きょう整正　1m当り単価表

歩掛コード	S330150

名称	規格	単位	数量	摘要
軌道工		人		6 (1) 標準歩掛
普通作業員		人		〃
軌きょう仮受装置		基･日		6 (2) 材料費
安定プレート	PL50×50×3.2mm	kg		〃
合計				
1m当り		m	100	

(注) パーティ数(P)を、別途考慮する。
(削除)

⑧レール切断　1口当り単価表

歩掛コード	S330160

名称	規格	単位	数量	摘要
軌道工		人		7 レール加工
普通作業員		人		〃
機械経費等燃料その他含む		口		〃
合計				
1口当り		口	1	

⑨レール穴あけ　1穴当り単価表

歩掛コード	S330170

名称	規格	単位	数量	摘要
軌道工		人		7 レール加工
普通作業員		人		〃
機械経費等燃料その他含む	ドリル使用	口		〃
合計				
1穴当り		穴	1	

⑩レール曲げ　1m当り単価表

歩掛コード	S330180

名称	規格	単位	数量	摘要
軌道工		人		7 レール加工

現行

⑥軌きょう整正　1m当り単価表

歩掛コード	S330150

名称	規格	単位	数量	摘要
軌道工		人		4　軌きょう整正(1)
普通作業員		人		〃
軌きょう仮受装置		基･日		4　軌きょう整正(2)
安定プレート	PL50×50×3.2mm	kg		〃
合計				
1m当り		m	100	

(注) ローカル設定での各材料の数量算出は以下の通り。
軌きょう仮受装置賃料数量　軌きょう仮受装置準備数量(基)×軌きょう仮受装置供用日数(日)
軌きょう仮受装置準備数量　100÷2.5×2×3×パーティ数(P)
軌きょう仮受装置供用日数　施工延長(m)÷400×30×パーティ数(P)
安定プレート　0.05×0.05×2×25.1×施工延長(m)÷2.5

⑦レール切断　1口当り単価表

歩掛コード	S330160

名称	規格	単位	数量	摘要
軌道工		人		5 レール加工
普通作業員		人		〃
機械経費等燃料その他含む		口		〃
合計				
1口当り		口	1	

⑧レール穴あけ　1穴当り単価表

歩掛コード	S330170

名称	規格	単位	数量	摘要
軌道工		人		5 レール加工
普通作業員		人		〃
機械経費等燃料その他含む	ドリル使用	口		〃
合計				
1穴当り		穴	1	

⑨レール曲げ　1m当り単価表

歩掛コード	S330180

名称	規格	単位	数量	摘要
軌道工		人		5 レール加工

ページ

改　正

合　　計				
1　m　当　り		m	100	

⑪器具損料　1m当り単価表

歩掛コード	S330190

名　　称	規　格	単位	数量	摘　　要
器　具　損　料		式		8　器具損料
合　　計				
1　m　当　り		m	100	

⑫油脂類　1m当り単価表

歩掛コード	S330200

名　　称	規　格	単位	数量	摘　　要
油　脂　類		式		9　油脂類
合　　計				
1　m　当　り		m	100	

P. 25

(2)道床新設　1m当り単価表

①路盤面清掃

歩掛コード	S330210

名　　称	規　格	単位	数量	摘　　要
普通作業員		人		2 路盤面清掃(2) 水洗い清掃
普通作業員		人		2 路盤面清掃(4) 目地・目皿防護
ポリエチレンフォーム断熱材	7.70×70×25	m3		2 路盤面清掃(5)材料費
工業用高圧洗浄機	吐出量 30.1L/min 圧力 4.9Mpa	日		2 路盤面清掃(3)機械経費 運転日当り換算値
発動発電機	5kVA	日		2 路盤面清掃(3)機械経費 運転日当り換算値
簡易トロリー	1ｔｱﾙﾐｾｰﾌﾃｨﾛｯｸ付き	日		2 路盤面清掃(3)機械経費 運転日当り損料 供用日当り損料
燃　　料	ガソリン	L		2 路盤面清掃(3)機械経費
合　　計				
1　m　当　り		m	100	

(注) 1. ポリエチレンフォーム断熱材のユーザ単価入力を行うこと。

(略)

現　行

合　　計				
1　m　当　り		m	100	

⑩器具損料　1m当り単価表

歩掛コード	S330190

名　　称	規　格	単位	数量	摘　　要
器　具　損　料		式		6　器具損料
合　　計				
1　m　当　り		m	100	

⑪油脂類　1m当り単価表

歩掛コード	S330200

名　　称	規　格	単位	数量	摘　　要
油　脂　類		式		7 油脂類
合　　計				
1　m　当　り		m	100	

(2)道床新設　1m当り単価表

①路盤面清掃

歩掛コード	S330210

名　　称	規　格	単位	数量	摘　　要
普通作業員		人		1 路盤面清掃(2) 水洗い清掃
普通作業員		人		1 路盤面清掃(4) 目地・目皿防護
発砲スチロール	TS25　2000×1000×500	m3		1 路盤面清掃(5)材料費
空気圧縮機	吐出量 1.4m3/min 出力 13kw	日		1 路盤面清掃(3)機械経費 運転日当り換算値
燃　　料	軽油	L		
合　　計				
1　m　当　り		m	100	

(注) 1. 発泡スチロールのユーザ単価入力を行うこと。

(略)

ページ	改　正	現　行
P.26	③型枠工　1㎡当り単価表	（新規）

歩掛コード	

名　称	規　格	単位	数量	摘　要
土木一般世話役		人		3（1）型枠の製作・設置・撤去
型　枠　工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
緒雑費率		%		〃
合　計				
1　m　当　り		㎡	100	

（注）水抜きパイプ材料は、別途計上すること。

④型枠運搬　1m当り単価表

歩掛コード	

名　称	規　格	単位	数量	摘　要
運転手（特殊）		人		4（1）標準歩掛
普通作業員		〃		〃
フォークリフト	2.5t級	日		4（2）機械経費 運転日及び供用日当り
燃料（軽油）		L		
合　計				
1　m　当　り		m	100	

⑤軌きょう防護フィルム設置撤去　1m当り単価表

歩掛コード	S330250

名　称	規　格	単位	数量	摘　要
普通作業員		人		5(1)軌きょう防護フィルム設置撤去
ビニールフィルム	0.1mm×135cm×100m	m		〃
合　計				
1　m　当　り		m	100	

（削除）

③軌きょう防護フィルム設置撤去　1m当り単価表

歩掛コード	S330250

名　称	規　格	単位	数量	摘　要
普通作業員		人		(3)軌きょう防護フィルム設置撤去
ビニールフィルム	0.1mm×135cm×100m	m		
合　計				
1　m　当　り		m	100	

（注）1.ビニールフィルム数量　まくらぎ長2.2m/本　662m
まくらぎ長1.8m/本　593m

P.27

⑥鉄筋運搬　1m当り単価表

歩掛コード	

名　称	規　格	単位	数量	摘　要
運転手（特殊）		人		7（1）標準歩掛
普通作業員		〃		〃

（新規）

ページ

改　正

フォークリフト	2.5ｔ級	日		7（2）機械経費 運転日及び供用日当り
燃料（軽油）		L		
合計				
1　m　当り		m	100	

⑦軌きょう再整正　1m当り単価表

歩掛コード	S330260

名称	規格	単位	数量	摘要
軌道工		人		8軌きょう再整正
普通作業員		人		〃
合計				
1　m　当り		m	100	

⑧コンクリート打設　1㎥当り単価表

歩掛コード	

名称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人		9（4）ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車打設歩掛
特殊作業員		〃		〃
普通作業員		〃		〃
コンクリートポンプ車運転時間		h		〃
緒雑費率		%		〃
合計				
1　m 3　当り		m3	10	

（削除）

現　行

④軌きょう再整正　1m当り単価表

歩掛コード	S330260

名称	規格	単位	数量	摘要
軌道工		人		4軌きょう再整正
普通作業員		人		〃
合計				
1　m　当り		m	100	

（新規）

⑤コンクリート輸送パイプ　1m3当り単価表

歩掛コード	S330270

名称	規格	単位	数量	摘要
普通作業員		人		
とび工		人		
コンクリート輸送パイプ		時間		
コンクリート輸送パイプ		日		
ラフテレーンクレーン	油圧式　4.9t	日		
合計				
1　m 3　当り		m3	C	

（注）各構成行の数量は以下の通り。

ページ	改　正	現　行
	（削除）	とび工　3.0×0.5×2×パーティ数(P) 普通作業員　2.7×施工延長(m)÷100 ラフテレーンクレーン使用日数　0.5×2×パーティ数(P) コンクリート輸送パイプ運転時間　3.5×コンクリート設計数量(m3)÷60×{100-30}÷4 コンクリート輸送パイプ供用日数　{100-30}÷4×{施工延長(m)÷400+5} C:コンクリート設計数量(m3) ⑥排水パイプ　1m当り単価表 歩掛コード　S330271 名称 / 規格 / 単位 / 数量 / 摘要 型枠工 / / 人 / / 排水パイプ設置手間 排水パイプ / VU50mm / m / / 合計 / / / / 1m当り / / m / C / （注）各構成行の数量は以下の通り。 型枠工　直線　2.29×施工延長(m)÷100 曲線　1.14×施工延長(m)÷100 排水パイプ　まくらぎ長1.8m/本　直線　施工延長(m)×0.32×2÷0.625×1.10 曲線　施工延長(m)×0.32×1÷0.625×1.10 排水パイプ　まくらぎ長2.2m/本　直線　施工延長(m)×0.35×2÷0.625×1.10 曲線　施工延長(m)×0.35×1÷0.625×1.10 C:施工延長(m)
	（削除）	⑦表面仕上げ　1m当り単価表 歩掛コード　S330280 名称 / 規格 / 単位 / 数量 / 摘要 特殊作業員 / / 人 / 4.3 / 合計 / / / / 1m当り / / m / 100 /
P.28	(3)ロングレール設定替　1m当り単価表 歩掛コード 名称 / 規格 / 単位 / 数量 / 摘要 軌道工 / / 人 / / 1ﾛﾝｸﾞﾚｰﾙ設定替（1） 普通作業員 / / 〃 / / 〃 レール加熱器燃料 / 灯油 / L / / 1ﾛﾝｸﾞﾚｰﾙ設定替(2) レール加熱器 / / 日 日 / / 1ﾛﾝｸﾞﾚｰﾙ設定替(2) 運転日当り及び供用日当り ボルト緊解機 / / 日 日 / / 〃 発動発電機 / 2KVA / 日 日 / / 〃 発動発電機燃料 / ガソリン / L / /	（新規）

ページ	改　正	現　行

低　ロ　ー　ラ		日		1ﾛﾝｸﾞﾚｰﾙ設定替(3) 供用日当り
レ　ー　ル　吊　上　機		日		〃
レ　ー　ル　緊　張　器	110t	日		〃
合　　計				
1　m　当　り		m	100	

P.29

(4)IJ 挿入工

①IJ 挿入工　1箇所当り単価表

歩掛コード	

名　　称	規格	単位	数量	摘要
軌　道　工		人		2 IJ 挿入工 (1) ①
普　通　作　業　員		〃		〃
機　械　経　費		箇所		2 IJ 挿入工 (1) ②
合　　計				
1　箇　所　当　り		箇所	1	

②IJ 運搬工　1箇所当り単価表

歩掛コード	

名　　称	規格	単位	数量	摘要
軌　道　工		人		2 IJ 運搬工 (1) ①
普　通　作　業　員		〃		〃
と　び　工		〃		〃
普　通　作　業　員		〃		〃
重　機　誘　導　員		〃		〃
ラフテレーンクレーン	16ｔ吊	日		2 IJ 挿入工② 賃料
簡　易　ト　ロ　リ　ー	1ｔｱﾙﾐ製ｾｰﾌﾃｨｰﾛｯｸ付き	日 日		2 IJ 挿入工② 運転日当り及び供用日当り
レ　ー　ル　山　越　器	1.5 吊り 2,300×800 アルミ製	日		2 IJ 挿入工② 供用日当り
合　　計				
1　箇　所　当　り		箇所	1	

(5)消音バラスト散布　1m当り単価表

歩掛コード	

名　　称	規格	単位	数量	摘要
軌　道　工		人		1 消音ﾊﾞﾗｽﾄ散布 (1)
普　通　作　業　員		〃		〃
ﾓｰﾀｶｰ運転手		〃		〃
運転手（特殊）		〃		〃
重　機　誘　導　員		〃		〃
バ　ッ　ク　ホ　ウ		h 日		1 消音ﾊﾞﾗｽﾄ散布(2) 運転時間当り及び供用日当り

（新規）

ページ	改　正	現　行

改正

ラフテレーンクレーン		日		1 消音ﾊﾞﾗｽﾄ散布(2)　賃料
コンクリートバケット		日 日		1 消音ﾊﾞﾗｽﾄ散布(2) 運転日当り及び供用日当り
軌　陸　ダ　ン　プ		h 日		1 消音ﾊﾞﾗｽﾄ散布(2) 運転時間当り及び供用日当り
合　　計				
1　m　当　り		m	100	

P.30

(6)脱線防止ガード新設

①受台積卸し・配列取付　1m当り単価表

歩掛コード	

名　　称	規格	単位	数量	摘要
軌　道　工		人		2 脱線防止ガード新設（1）①
普　通　作　業　員		〃		〃
合　　計				
1　m　当　り		m	100	

②脱線防止ガード加工・取付　1m当り単価表

歩掛コード	

名　　称	規格	単位	数量	摘要
鉄　骨　工		人		2 脱線防止ガード新設（2）②
合　　計				
1　m　当　り		m	100	

③脱線防止ガード運搬　1m当り単価表

歩掛コード	

名　　称	規格	単位	数量	摘要
と　び　工		人		2 脱線防止ガード新設（1）③
普　通　作　業　員		〃		〃
重　機　誘　導　員		〃		〃
ラフテレーンクレーン		日		2 脱線防止ガード新設（2） 賃料
簡　易　ト　ロ　リ　ー		日 日		2 脱線防止ガード新設（2） 運転日当り及び供用日当り
脱 線 防 止 ガ ー ド		組		2 脱線防止ガード新設（3）
合　　計				
1　m　当　り		m	100	

(略)

現行

(新規)

(略)

ページ	改　正	現　行

改　正

p.13

Ⅳ　フラッシュバット溶接

P.14

（略）

2　標準歩掛

（略）

（1）溶接機械組立、解体
基地工法（明かり区間及びトンネル区間）

（1回当り）

種　別	単位	レール溶接技術者	レール仕上技術者	特殊作業員	記　事
組　立	人	28	28	14	試運転調整を含む。
解　体	人	8	8	2	

（注）1. 組立、解体の所要日数は次を標準とする。

種　別		所要日数
基地工法	組立	7日
	解体	2日

2. 溶接機械とは、溶接機本体・発動発電機・制御盤・油圧ユニット・冷却システム・ウインチ・グラインダー（仕上台を含む）等である。
3. 積卸し、組立、据付に使用するラフテレーンクレーン、フォークリフト等は次を標準とするが、現地の状況に応じ規格や使用機械を変更すること。

（1回当り）

種　別	名　称	規　格	単　位	数　量	記　事
組立・解体	ラフテレーンクレーン（賃料）	70t	台・日	2	明かり区間
	フォークリフト（賃料）	15t	台・日	4	トンネル区間
	運転手（特殊）		人	4	トンネル区間

4. ﾌﾗｯｼｭﾊﾞｯﾄ溶接機および発動発電機（貸与機械（溶接機）用）の運搬費は別途加算する。
5. 賃料に燃料費が含まれない場合は別途加算する。

（略）

P.16

4　機械所要台数表

機械名	形　式	重量(t)	単位	所要数	記　事
ﾌﾗｯｼｭﾊﾞｯﾄ溶接機	各種（付属品一式共）	11.7	式	1	貸与機械の場合の重量
空気圧縮機	吐出量　1.4m³/min (可搬式・ｽｸﾘｭｰ・ｴﾝｼﾞﾝ・排ガス)	0.4	台	1※1	業者持ち機械用
発動発電機	680kVA (ディーゼルエンジン駆動)	14.5	〃	1※2	貸与機械（溶接機）用
〃	20/25kVA (ディーゼルエンジン駆動・排ガス)	0.73	〃	1※2	貸与機械（ﾘﾌﾀｰ）用
〃	13/15kVA (ディーゼルエンジン駆動・排ガス)	0.50	〃	1	グラインダー用
〃	4.5/5kVA (ディーゼルエンジン駆動)	0.24	〃	1	ウインチ用
モータウインチ	巻上能力 0.5t×40m/分	0.23	〃	1	必要により増加

現　行

Ⅳ　フラッシュバット溶接

（略）

2　標準歩掛

（略）

（1）溶接機械組立、解体
基地工法（明かり区間及びトンネル区間）

（1回当り）

種　別	単位	レール溶接技術者	レール仕上技術者	特殊作業員	記　事
組　立	人	28	28	14	試運転調整を含む。
解　体	人	8	8	2	

（注）1. 組立、解体の所要日数は次を標準とする。

種　別		所要日数
基地工法	組立	7日
	解体	2日

2. 溶接機械とは、溶接機本体・発動発電機・制御盤・油圧ユニット・冷却システム・ウインチ・グラインダー（仕上台を含む）等である。
3. 積卸し、組立、据付に使用するラフテレーンクレーン、フォークリフト等は次を標準とするが、現地の状況に応じ規格や使用機械を変更すること。

（1回当り）

種　別	名　称	規　格	単　位	数　量	記　事
組立・解体	ラフテレーンクレーン（賃料）	70t	台・日	2	明かり区間
	フォークリフト（賃料）	15t	台・日	4	トンネル区間
	運転手（特殊）		人	4	トンネル区間

4. 溶接機械の運搬費は別途加算する。
5. 賃料に燃料費が含まれない場合は別途加算する。

（略）

4　機械所要台数表

機械名	形　式	重量(t)	単位	所要数	記　事
ﾌﾗｯｼｭﾊﾞｯﾄ溶接機	各種（付属品一式共）	11.7	式	1	貸与機械の場合の重量
空気圧縮機	吐出量　1.4m³/min (可搬式・ｽｸﾘｭｰ・ｴﾝｼﾞﾝ・排ガス)	0.4	台	1※1	業者持ち機械用
発動発電機	680kVA (ディーゼルエンジン駆動)	14.5	〃	1※2	貸与機械　用
〃	13/15kVA (ディーゼルエンジン駆動・排ガス)	0.50	〃	1	グラインダー用
〃	4.5/5kVA (ディーゼルエンジン駆動)	0.24	〃	1	ウインチ用
モータウインチ	巻上能力 0.5t×40m/分	0.23	〃	1	必要により増加

改　正

門形クレーン（テルハ）	1.5ｔ（電動ホイスト付）	各種	〃	必要数	
発動発電機	20/25kVA（ディーゼルエンジン駆動・排ガス）	0.73	〃	1	電動ホイスト用（明り区間）
〃	30/35kVA（ディーゼルエンジン駆動・排ガス）	0.99	〃	1	電動ホイスト用（トンネル区間）
高ローラ	600㎜（高さ調整式）	0.06	個	63（標準）	
低ローラ	180㎜	0.01	〃	34（標準）	
レール吊上機	1.5ｔ吊り	0.02	台	1（標準）	
グラインダー	各種	0.01	式	4	

※1. 受注者がﾌﾗｯｼｭﾊﾞｯﾄ溶接機を準備する場合に限り計上する。
※2. 機構がﾌﾗｯｼｭﾊﾞｯﾄ溶接機を貸与する場合に限り計上する。

（注）

1. ﾌﾗｯｼｭﾊﾞｯﾄ溶接機および発動発電機（貸与機械（溶接機）用）以外の運送費は共通仮設費の率計上による。
2. 門形クレーン（テルハ）の設置費用は、他工事で設置する場合は計上しない。
3. 門形クレーン（テルハ）用電動ホイストとホイスト用発動発電機の供用係数については、他工事と競合する場合は1.0とし、競合しない場合は1.6とする。
4. 機械損料は、軌道工事用機械損料算定表による。
5. モータカー等が必要な場合の経費は、別途計上する。
6. 発動発電機30/35kVA（トンネル用）には、テルハに設置する照明器具用の電源を兼ねている。
7. ﾌﾗｯｼｭﾊﾞｯﾄ溶接機、発動発電機（680kVA）の供用係数は1.6とする。
8. トンネル内に排煙設備が必要な場合の経費は、別途計上する。

P. 17

5　**機械賃料表**

名称	規格	賃料額（円）		燃費（L/H）	記事
		供用日当り	供用月当り		
発動発電機	680kVA	62,600	1,880,000	20.8	貸与機械（溶接機）用

（注）1. 発動発電機の規格が変更となった場合は、賃料額を変更する。
2. 発動発電機は、現地の状況により工事期間中の賃料を計上する場合は、月当たり賃料額を使用することができる。
3. 発動発電機の賃料を工事期間分計上する場合は、供用係数を1.0とする。

（略）

p. 23

Ⅵ　単価表及び歩掛条件入力基準表

1　**単価表**

（略）

p. 30

(3) フラッシュバット溶接

（略）

P. 32

③-3 機械損料　1口当り単価表

歩掛コード	S390470

名称	規格	単位	数量	摘要

現　行

門形クレーン（テルハ）	1.5ｔ（電動ホイスト付）	各種	〃	必要数	
発動発電機	20/25kVA（ディーゼルエンジン駆動・排ガス）	0.73	〃	1	電動ホイスト用（明り区間）
〃	30/35kVA（ディーゼルエンジン駆動・排ガス）	0.99	〃	1	電動ホイスト用（トンネル区間）
高ローラ	600㎜（高さ調整式）	0.06	個	63（標準）	
低ローラ	180㎜	0.01	〃	34（標準）	
レール吊上機	1.5ｔ吊り	0.02	台	1（標準）	
グラインダー	各種	0.01	式	4	

（注）1. 受注者がﾌﾗｯｼｭﾊﾞｯﾄ溶接機を準備する場合に限り計上する。
2. 機構がﾌﾗｯｼｭﾊﾞｯﾄ溶接機を貸与する場合に限り計上する。
3. ﾌﾗｯｼｭﾊﾞｯﾄ溶接機以外の運送費は共通仮設費の率計上による。
4. 門形クレーン（テルハ）の設置費用は、他工事で設置する場合は計上しない。
5. 門形クレーン（テルハ）用電動ホイストとホイスト用発動発電機の供用係数については、他工事と競合する場合は1.0とし、競合しない場合は1.6とする。
6. 機械損料は、軌道工事用機械損料算定表による。
7. モータカー等が必要な場合の経費は、別途計上する。
8. 発動発電機30/35kVA（トンネル用）には、テルハに設置する照明器具用の電源を兼ねている。
9. ﾌﾗｯｼｭﾊﾞｯﾄ溶接機、発動発電機（680kVA）の供用係数は1.6とする。
10. トンネル内に排煙設備が必要な場合の経費は、別途計上する。

5　**機械賃料表**

名称	規格	賃料額（円）		燃費（L/H）	記事
		供用日当り			
発動発電機	680kVA	62,600		20.8	

（注）1. 発動発電機の規格が変更となった場合は、賃料額を変更する。

（略）

Ⅵ　単価表及び歩掛条件入力基準表

1　**単価表**

（略）

(3) フラッシュバット溶接

（略）

③-3 機械損料　1口当り単価表

歩掛コード	S390470

名称	規格	単位	数量	摘要

ページ

改　正

ﾌﾗｯｼｭﾊﾞｯﾄ溶接機	供用日当り	日		4　機械所要台数表
ﾌﾗｯｼｭﾊﾞｯﾄ溶接機	運転日当り	日		〃
軽油		L		業者持ち機械のみ (燃費 28.7L/H)
空気圧縮機	供用日当り	日		4　機械所要台数表
空気圧縮機	運転日当り	日		〃
軽油		L		
発動発電機　680kVA	供用日当り	日		4　機械所要台数(賃料)
軽油		L		20.8L/H
発動発電機　20/25kVA	供用日当り	日		4　機械所要台数表
発動発電機　20/25kVA	運転日当り	日		〃
軽油		L		
発動発電機　13/15kVA	供用日当り	日		4　機械所要台数表
発動発電機　13/15kVA	運転日当り	日		〃
軽油		L		
発動発電機　4.5/5kVA	供用日当り	日		4　機械所要台数表
発動発電機　4.5/5kVA	運転日当り	日		〃
軽油		L		
モーターウインチ	供用日当り	日		4　機械所要台数表 モーターウインチ計上の場合
モーターウインチ	運転日当り	日		
電動ホイスト	1.5t 吊 2.2kw	日		4　機械所要台数表 供用日当り
電動ホイスト	1.5t 吊 2.2kw	日		4　機械所要台数表 運転日当り
発動発電機　20/25kVA	供用日当り (明り区間)	日		4　機械所要台数表
発動発電機　20/25kVA	運転日当り (明り区間)	日		〃
発動発電機　30/35kVA	供用日当り (トンネル区間)	日		〃
発動発電機　30/35kVA	運転日当り (トンネル区間)	日		〃
軽油		L		
高ローラ	600mm (高さ調整式)	日		4　機械所要台数表 供用日当り
低ローラ	180mm	日		〃
レール吊上機		日		〃
グラインダー	供用日当り	日		4　機械所要台数表
グラインダー	運転日当り	日		
合計				
1口当り		口	Nd	

(注) 門形クレーン (テルハ) 等の設備撤去費は別途計上すること。
Nd：1日施工口数

(略)

現　行

ﾌﾗｯｼｭﾊﾞｯﾄ溶接機	供用日当り	日		4　機械所要台数表
ﾌﾗｯｼｭﾊﾞｯﾄ溶接機	運転日当り	日		〃
軽油		L		業者持ち機械のみ (燃費 28.7L/H)
空気圧縮機	供用日当り	日		4　機械所要台数表
空気圧縮機	運転日当り	日		〃
軽油		L		
発動発電機　680kVA	供用日当り	日		4　機械所要台数(賃料)
軽油		L		20.8L/H
発動発電機　13/15kVA	供用日当り	日		4　機械所要台数表
発動発電機　13/15kVA	運転日当り	日		〃
軽油		L		
発動発電機　4.5/5kVA	供用日当り	日		4　機械所要台数表
発動発電機　4.5/5kVA	運転日当り	日		〃
軽油		L		
モーターウインチ	供用日当り	日		4　機械所要台数表 モーターウインチ計上の場合
モーターウインチ	運転日当り	日		
電動ホイスト	1.5t 吊 2.2kw	日		4　機械所要台数表 供用日当り
電動ホイスト	1.5t 吊 2.2kw	日		4　機械所要台数表 運転日当り
発動発電機　20/25kVA	供用日当り (明り区間)	日		4　機械所要台数表
発動発電機　20/25kVA	運転日当り (明り区間)	日		〃
発動発電機　30/35kVA	供用日当り (トンネル区間)	日		〃
発動発電機　30/35kVA	運転日当り (トンネル区間)	日		〃
軽油		L		
高ローラ	600mm (高さ調整式)	日		4　機械所要台数表 供用日当り
低ローラ	180mm	日		〃
レール吊上機		日		〃
グラインダー	供用日当り	日		4　機械所要台数表
グラインダー	運転日当り	日		
合計				
1口当り		口	Nd	

(注) 門形クレーン (テルハ) 等の設備撤去費は別途計上すること。
Nd：1日施工口数

(略)

ページ	改　　正	現　　行
P4	(略) (1)業　者　持　ち　機　械	(略) (1)業　者　持　ち　機　械

改正

機械名	機能・構造	重量(t)	運転損料額(円) 運転時間当り	運転損料額(円) 運転日当り	供用日当り損料額(円)	燃費 E(kWh/h) ι/h		記事
電動ホイスト	1.0ｔ吊り　2.2ｋW	0.18		209	191	E	0.7	
	1.5ｔ吊り　2.2ｋW	0.19		232	213	E	0.7	
	2.0ｔ吊り　2.2ｋW	0.27		277	254	E	1.0	
	7.5ｔ吊り　2.2ｋW	0.36		318	291	E	1.0	
レール吊上器	1.0ｔ吊り アルミ製	0.01		－	129	－	－	
	1.5ｔ吊り アルミ製	0.01		－	152	－	－	
レール山越器	1.5ｔ吊り　3,500×850 アルミ製	0.05		－	554	－	－	ﾁｪﾝﾌﾞﾛｯｸ等付属品含む
	1.5ｔ吊り　2,300×800 アルミ製	0.03		－	472	－	－	
チェンブロック	1ｔ吊り　手動	0.01		－	119	－	－	
	1.5ｔ吊り　電動	0.11		－	622	E	0.7	
簡易トロリー	1ｔ積 アルミ製 セーフティロック付き 1,067mm	0.04		422	363	－	－	
	1ｔ積 アルミ製 セーフティロック付き 1,435mm	0.05		507	436	－	－	
レール運搬器				292	251	－	－	
門形調整器				－	8,360	－	－	
レール切断機	高速 エンジン式 (TDC-M1 形)	0.02		1,530	931	G	0.3	
レール曲げ機	油圧式 50N レール	0.09		－	1,030	－	－	
	油圧式 60kg レール	0.09		－	947	－	－	
レール穴明機	バッテリー式	0.00		－	1,410	E	0.2	
ボルト緊解機	電動式　トルク調整付	0.06		6,100	4,310	－	－	500N･m 対応
発動発電機	ボルト緊解機用	0.04		165	140	G	1.2	

現行

機械名	機能・構造	重量(t)	運転損料額(円) 運転時間当り	運転損料額(円) 運転日当り	供用日当り損料額(円)	燃費 E(kWh/h) ι/h		記事
電動ホイスト	1.0ｔ吊り　2.2ｋW	0.18		179	164	E	0.7	
	1.5ｔ吊り　2.2ｋW	0.19		200	183	E	0.7	
	2.0ｔ吊り　2.2ｋW	0.27		237	217	E	1.0	
レール吊上器	1.0ｔ吊り アルミ製	0.01		－	148	－	－	
	1.5ｔ吊り アルミ製	0.01		－	161	－	－	
レール山越器	1.5ｔ吊り　3,500×850 アルミ製	0.05		－	592	－	－	ﾁｪﾝﾌﾞﾛｯｸ等付属品含む
	1.5ｔ吊り　2,300×800 アルミ製	0.03		－	512	－	－	
チェンブロック	1ｔ吊り　手動	0.01		－	105	－	－	
	1.5ｔ吊り　電動	0.11		－	551	E	0.7	
簡易トロリー	1ｔ積 アルミ製 セーフティロック付き 1,067mm	0.04		375	322	－	－	
	1ｔ積 アルミ製 セーフティロック付き 1,435mm	0.05		430	370	－	－	
レール運搬器				292	251	－	－	
門形調整器				－	6,500	－	－	
レール切断機	高速 エンジン式 (TDC-M1 形)	0.02		1,110	677	G	0.3	
レール曲げ機	油圧式 50N レール	0.09		－	730	－	－	
	油圧式 60kg レール	0.09		－	947	－	－	
レール穴明機	バッテリー式	0.00		－	1,200	E	0.2	
ボルト緊解機	電動式　トルク調整付	0.06		5,280	3,730	－	－	500N･m 対応
発動発電機	ボルト緊解機用	0.04		152	129	G	1.2	

ページ	改　正									現　行								
	機械名	機能・構造	重量(t)	運転損料額(円) 運転時間当り	運転損料額(円) 運転日当り	供用日当り損料額(円)	燃費 E(kWh/h)	燃費 ι/h	記事	機械名	機能・構造	重量(t)	運転損料額(円) 運転時間当り	運転損料額(円) 運転日当り	供用日当り損料額(円)	燃費 E(kWh/h)	燃費 ι/h	記事
P.5	低ローラ	180mm	0.00		－	30	－	－		低ローラ	180mm	0.00		－	25	－	－	
	高ローラ	600mm（高さ調整式）	0.06		－	662	－	－		高ローラ	600mm（高さ調整式）	0.06		－	301	－	－	
	レールガス圧接器	TGP-119、鉄研可搬式押抜器付き（付属品一式共）	0.70		27,400	26,100	－	－		レールガス圧接器	TGP-119、鉄研可搬式押抜器付き（付属品一式共）	0.70		24,900	23,800	－	－	
	レール再熱処理装置	頭部熱処理レールガス圧接用	0.25		3,300	3,110	－	－		レール再熱処理装置	頭部熱処理レールガス圧接用	0.25		4,940	4,650	－	－	
	ﾌﾗｯｼｭﾊﾞｯﾄ溶接機	冷間矯正器含む	15.3		327,300	312,600		28.7		ﾌﾗｯｼｭﾊﾞｯﾄ溶接機	冷間矯正器含む	15.3		244,000	207,000		28.7	
	エンクローズ治具	後熱あり	－	一口当たり		11,270		－		エンクローズ治具	後熱あり	－	一口当たり		8,520		－	
		後熱なし	－	一口当たり		7,240		－			後熱なし	－	一口当たり		5,260		－	
	グラインダー	各種	0.02		563	354	－	－		グラインダー	各種	0.02		298	187	－	－	
	簡易配電盤		0.03		－	771	－	－		簡易配電盤		0.03		－	771	－	－	
	乳剤タンク	10ｔアジテータ	3.50		－	9,280	－	－		乳剤タンク	10ｔアジテータ	3.50		－	9,280	－	－	
		10ｔ加熱保温型	3.50		－	11,500	－	－			10ｔ加熱保温型	3.50		－	11,500	－	－	
	給水タンク	5ｔ用	0.10		－	953	－	－		給水タンク	5ｔ用	0.10		－	953	－	－	
	圧送ポンプ	φ40mm			492	304	E	0.4		圧送ポンプ	φ40mm			492	304	E	0.4	
	乳材用ポンプ	φ50mm ギヤーポンプ電動機付	0.20		949	514	E	2.2		乳材用ポンプ	φ50mm ギヤーポンプ電動機付	0.20		1,260	685	E	2.2	
	樹脂注入機	200W	0.03		913	688	－	－		樹脂注入機	200W	0.03		750	565	－	－	
	トラックマスター	1435mm 用	0.04		－	7,150	一日当り作業量は250m/日			トラックマスター	1435mm 用	0.04		－	5,810	一日当り作業量は250m/日		
	レール加熱器	石油式、手押式	0.55		33,800	21,700	－	－		レール加熱器	石油式、手押式	0.55		26,800	17,300	－	－	
	レール緊張器	110ｔ	0.54		－	22,100	－	－		レール緊張器	110ｔ	0.54		－	16,600	－	－	
	フォークリフト	2.5ｔ級	3.7		1,770	2,400		1.4		フォークリフト	2.5ｔ級	3.7		1,240	1,880		1.4	
	軌陸バックホウ	0.25 m^3級 4頭式ﾀｲﾀﾝﾊﾟｱﾀｯﾁﾒﾝﾄ付き 標準軌	7.0	4,170		29,200		6.3		軌陸バックホウ	0.25 m^3級 4頭式ﾀｲﾀﾝﾊﾟｱﾀｯﾁﾒﾝﾄ付き 標準軌	7.0	3,590		25,200		6.3	
	軌陸ダンプ	3t3 転式　標準軌	8.0	3,120		31,700		4.6		軌陸ダンプ	3t3 転式　標準軌	8.0	2,640		26,900		4.6	
	デジタル式スラブ敷設ゲージ	本体・タブレット PC・RFID タグリーダー各２台含む				4,930				デジタル式スラブ敷設ゲージ	本体・タブレット PC・RFID タグリーダー各２台含む				3,850			
	自動計量混合装置				5,960	4,910				自動計量混合装置				5,470	4,500			

ページ	改　　正	現　　行

(2)　無償貸与

機械名	機能・構造	機関出力 kW	機関出力 PS	重量 (t)	運転損料額(円) 運転時間当り	運転損料額(円) 運転日当り	供用日当り損料額(円)	燃費 (L/H)	記事
アスファルトモルタルミキサ	MA-15001.2M m^3 12PS	15.0		0.8		336	－	－	
グラウトポンプ	グラウトポンプ	22.0		1.0		353	－	－	
特種車(軌陸装置付)	Ⅰ形抑速・逸走防止付	114.0	155	12.7	801		3,360	5.2	軌道用
	Ⅲ形逸走防止付	100.0	136	12.0	924		3,880	－	電気用
架線作業車	架線作業車 RV-S 108PS	79.4	108	17.0	1,040		4,380	－	
	架線作業車 SV-S 108PS	79.4	108	21.0	1,440		6,060	－	
軌道ﾓｰﾀｶｰ	抑速・重連	213.3	290	28.0	1,030		4,330	12.7	
鉄製トロ逸走防止付	平板式 10t・15t 空気ﾌﾞﾚｰｷ付 1,435mm			3.0		118	－	－	
	平板式 クレーン付き 15ｔ 空気ﾌﾞﾚｰｷ付			5.0		641			
スラブ軌道作業車	簡易注入車　1,435mm	75		31.7	1,580		－	－	
	レール送込装置 1,435mm	11.4		8.0	472		－	－	
	スラブ運搬敷設車 2,960mm	33		30.5	677		－	－	
ﾌﾗｯｼｭﾊﾞｯﾄ溶接機	H650 Slew Crane			11.7		27,280			
その他	レール積卸ローラ(A・B)			0.3			34	－	
	レール積付金具			0.1			19	－	
	連結棒 L=1.3～4.5m			0.3			14	－	

(注) 1. 燃費において、G：ガソリン E：電力　印のないものは軽油である。
2. 機械器具の供用係数は、6-6-1（機械損料表）又は、「建設機械等損料算定表」（国土交通省監修）による。
3. 運送費は、重量に容積を考慮して積載量をきめること。

(略)

(2)　無償貸与

機械名	機能・構造	機関出力 kW	機関出力 PS	重量 (t)	運転損料額(円) 運転時間当り	運転損料額(円) 運転日当り	供用日当り損料額(円)	燃費 (L/H)	記事
アスファルトモルタルミキサ	MA-15001.2M m^3 12PS	15.0		0.8		244	－	－	
グラウトポンプ	グラウトポンプ	22.0		1.0		295	－	－	
特種車(軌陸装置付)	Ⅰ形抑速・逸走防止付	114.0	155	12.7	721		3,030	5.2	軌道用
	Ⅲ形逸走防止付	100.0	136	12.0	821		3,450	－	電気用
架線作業車	架線作業車 RV-S 108PS	79.4	108	17.0	914		3,840	－	
	架線作業車 SV-S 108PS	79.4	108	21.0	1,220		5,120	－	
軌道ﾓｰﾀｶｰ	WD-H28B 290PS	213.3	290	28.0	596		2,500	12.7	
鉄製トロ逸走防止付	平板式 10t・15t 空気ﾌﾞﾚｰｷ付 1,435mm			3.0		135	－	－	
	平板式 クレーン付き 15ｔ 空気ﾌﾞﾚｰｷ付			5.0		646			
スラブ軌道作業車	簡易注入車　1,435mm	75		31.7	1,260		－	－	
	レール送込装置 1,435mm	11.4		8.0	532		－	－	
	スラブ運搬敷設車 2,960mm	33		30.5	623		－	－	
ﾌﾗｯｼｭﾊﾞｯﾄ溶接機	H650 Slew Crane			11.7		20,510			
その他	レール積卸ローラ(A・B)			0.3			32	－	
	レール積付金具			0.1			18	－	
	連結棒 L=1.3～4.5m			0.3			11	－	

(注) 1. 燃費において、G：ガソリン E：電力　印のないものは軽油である。
2. 機械器具の供用係数は、6-6-1（機械損料表）又は、「建設機械等損料算定表」（国土交通省監修）による。
3. 運送費は、重量に容積を考慮して積載量をきめること。

(略)